

ふくしまの 平成20年度
職業能力開発

F U K U S H I M A

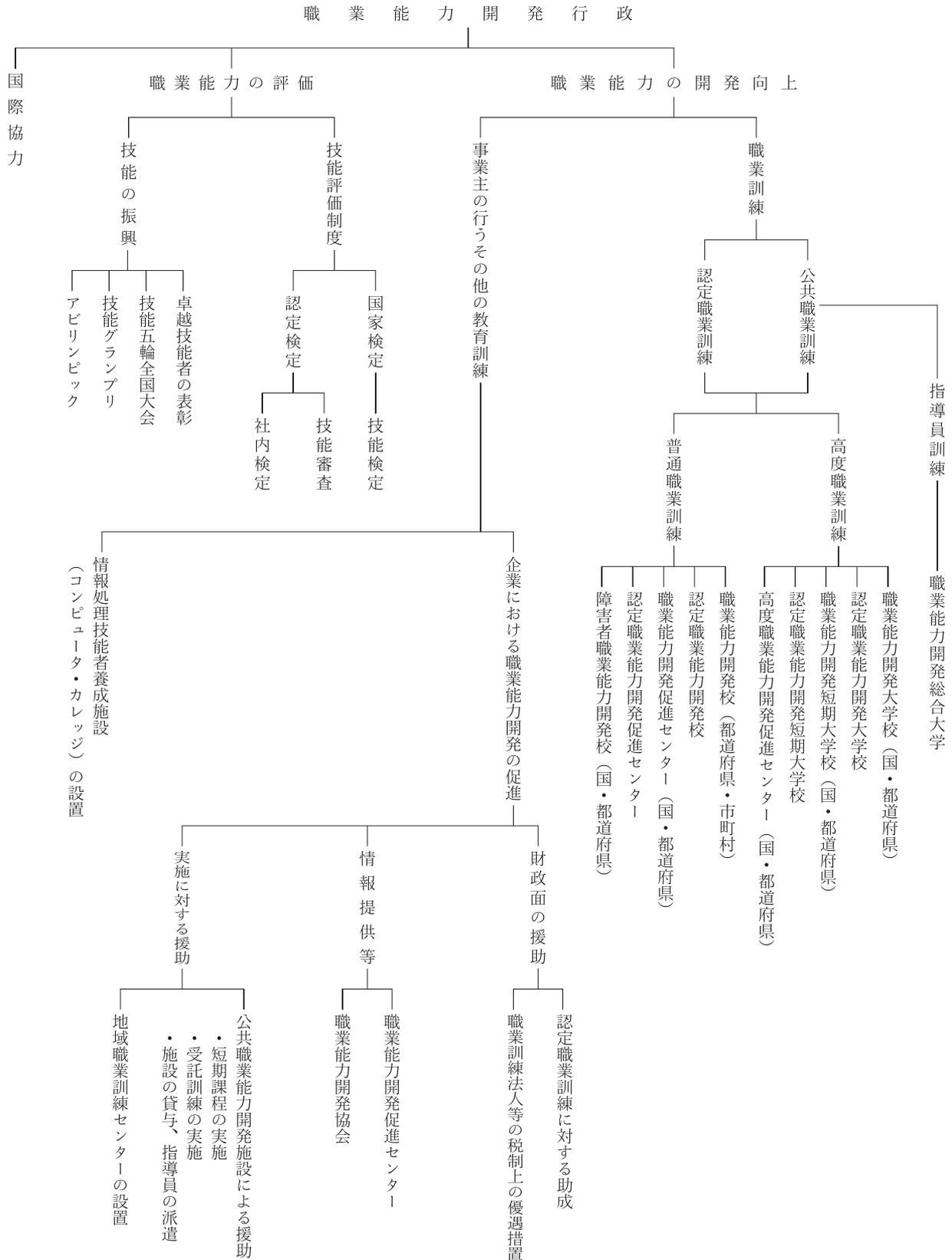
目 次

第1	職業能力開発行政の概要	1
1	職業能力開発行政の体系	1
2	職業訓練の種類及び内容	2
3	職業能力開発行政組織	3
4	公共職業能力開発施設	6
5	認定職業能力開発施設	7
第2	職業能力開発行政の施策体系〔20年度事業概要〕	8
第3	平成20年度県事業計画と平成19年度県事業実績	10
1	ひとつづくりに関する施策	10
(1)	若者の職業的自立の支援	10
①	若年者職業訓練事業	10
②	高等技術専門校を活用したマイスター教員育成事業（新）	11
(2)	支援が必要な者への職業能力開発	11
①	離職者等再就職訓練事業	11
②	母子家庭の母等の職業的自立促進事業	12
③	障がい者委託訓練事業	12
④	障がい者職業能力開発事業	13
⑤	職業訓練手当（障がい者や母子家庭の母への支援）	13
(3)	企業ニーズに対応した人材供給	14
①	普通職業訓練〔普通課程〕	14
②	職業訓練指導員研修	15
③	高等技術専門校整備（機器・施設設備）	16
④	高等技術専門校評価システム	17
(4)	企業の活力を支える人材育成	17
①	普通職業訓練〔短期課程〕	17
②	認定職業訓練費補助事業	18
③	福島県職業能力開発協会補助事業	19
④	地域職業訓練センター	20
2	ものづくりに関する施策	20
(1)	技術・技能水準の向上	20
①	うつくしいものづくり推進事業	20
②	うつくしまものづくり大賞事業	23
③	技能検定の実施	23

④ 卓越技能者表彰等事業（県名工等表彰）	24
⑤ 職業訓練指導員試験の実施（職業訓練指導員免許）	25
(2) 熟練技能の継承	25
① 認定職業訓練費補助事業（再掲）	25
② 福島県職業能力開発協会補助事業（再掲）	25
3 環境づくりに関する施策	26
(1) 高等技術専門校の高度化・再編整備	26
① ものづくり高度化人材育成事業	26
(2) 関係機関等との連携強化	26
統計資料等	
1 平成20年度当初予算の概要	29
2 公共職業能力開発施設の20年度入学・応募状況／19年度入学・修了状況	30
3 認定職業訓練実施状況の推移／認定職業訓練施設一覧	49
4 技能照査実施状況	58
5 職業訓練指導員免許交付状況／職業訓練指導員試験実施状況	59
6 技能検定実施状況	61
7 ものづくりフェスタ実施状況	72
8 技能競技大会での成績	74
9 うつくしまものづくり大賞	80
10 技能者表彰一覧	83
11 県立高等技術専門校の変遷	97
12 関係団体等一覧／出先機関等一覧	99

第1 職業能力開発行政の概要

1 職業能力開発行政の体系

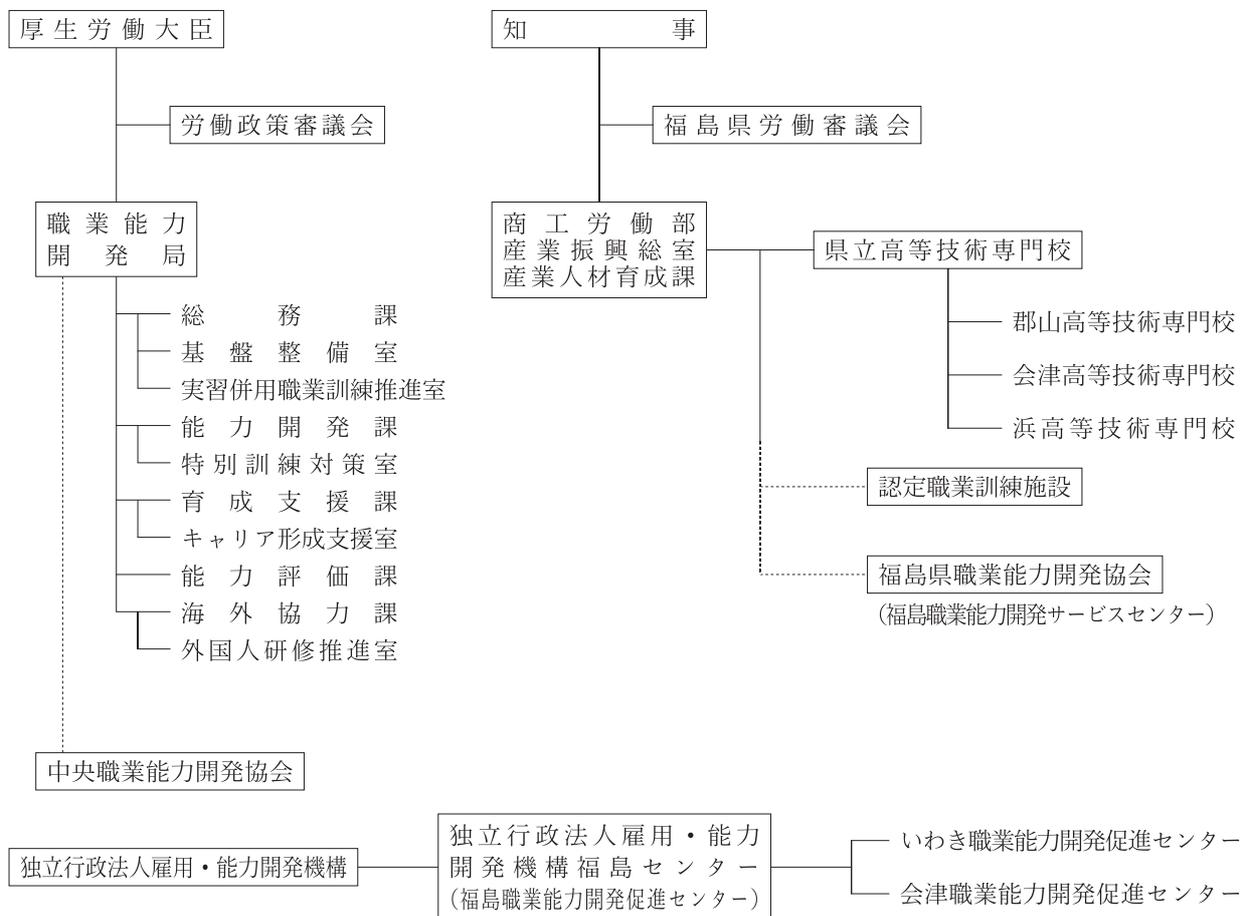


2 職業訓練の種類及び内容

職業訓練の種類	訓練課程	訓練の概要	訓練期間及び総訓練時間	公共職業能力開発施設
普通職業訓練	普通課程	中学校卒業後又は高等学校卒業後等を対象として、将来多様な技能・知識を有する労働者となるために必要な基礎的な技能・知識を習得させるための長期間の課程	高等学校卒業後等1年 総訓練時間1,400時間以上 中学校卒業後等2年 総訓練時間2,800時間以上 (1年につき概ね1,400時間)	県立郡山高等技術専門学校・会津高等技術専門学校・浜高等技術専門学校 (高等学校卒業後等を対象として、2年間、総訓練時間2,800時間以上で実施している)
	短期課程	在職労働者・離転職者等に対して、職業に必要な技能(高度技能を除く)・知識を習得させるための短期間の課程	6月(訓練の技能等によっては1年)以下 総訓練時間12時間以上 (管理監督者コースにおいては、10時間以上)	県立郡山高等技術専門学校・会津高等技術専門学校・浜高等技術専門学校 雇用・能力開発機構立福島職業能力開発促進センター・いわき職業能力開発促進センター・会津職業能力開発促進センター
高度職業訓練	専門課程	高等学校卒業後等に対して、将来職業に必要な高度の技能・知識を有する労働者となるために必要な基礎的な技能・知識を習得させるための長期間の課程	高等学校卒業後等2年 総訓練時間2,800時間以上 (1年につき概ね1,400時間)	職業能力開発短期大学校 職業能力開発大学校 職業能力開発総合大学校 (福島県においては平成21年4月に郡山校、平成22年4月に会津・浜校に専門課程を県立テクノアカデミー内に開設予定)
	応用課程	専門課程修了者等に対して、将来職業に必要な高度で専門的かつ応用的な技能・知識を有する労働者となるために必要な技能・知識を習得させるための長期間の課程	専門課程修了者等2年 総訓練時間2,800時間以上 (1年につき概ね1,400時間)	職業能力開発大学校 職業能力開発総合大学校 (福島県においては実施していない。)
	専門短期課程	在職労働者等に対して、職業に必要な高度の技能・知識を習得させるための短期間の課程	6月(訓練の技能等によっては1年)以下 総訓練時間12時間以上	雇用・能力開発機構立福島職業能力開発促進センター・いわき職業能力開発促進センター・会津職業能力開発促進センター
	応用短期課程	在職労働者等に対して、職業に必要な高度で専門的かつ応用的な技能・知識を習得させるための短期間の課程	1年以下 総訓練時間60時間以上	職業能力開発大学校 職業能力開発総合大学校 (福島県においては実施していない。)
	指導員訓練	主として高等学校卒業後等を対象に職業訓練指導員を養成するための課程	高等学校卒業後等4年	職業能力開発総合大学校(神奈川県相模原市)
	専門課程	職業訓練指導員や職業訓練指導員免許所持者を対象に職業訓練指導員免許を追加して取得させるための課程	6月又は1年	
	研究課程	高度専門知識・技能に加え優れた研究能力を備えた職業訓練指導員を養成するための課程	長期課程修了者等2年	
	応用研究課程	高度の専門知識・技能に加え優れた応用力・研究開発能力を備えた職業訓練指導員を養成するための課程	研究課程修了者等1年	
	研修課程	職業訓練指導員の資質向上のための課程	12時間以上	

3 職業能力開発行政組織

(1) 組織図(全体)



(2) 県行政組織

① 産業振興総室産業人材育成課

ア 人員

課長	主幹	課員	計
1	2	9	12

イ 分掌事務

- ・ 県立高等技術専門学校に関すること。
- ・ 認定職業訓練に関すること。
- ・ 離転職者等の職業能力開発に関すること。
- ・ ものづくり技能の振興に関すること。
- ・ 職業訓練指導員の試験及び免許に関すること。
- ・ 技能検定に関すること。
- ・ 福島県職業能力開発協会、福島県技能士会連合会、地域職業訓練センターに関すること。

② 県立高等技術専門校

区分 校名	設 立 年 月 所 在 地 敷 地 面 積 建 物 総 面 積	校 長	副 校 長	課 長	職 員	指 導 員		合 計	備 考
						課及び訓練科	現員		
郡 山	昭和25年7月 〒963-8816 郡山市上野山5 TEL (024-944-1663(代)) FAX (024-943-7985) 38,407.35㎡(敷地) 8,993.05㎡(建物)	1	1	3	2	教 務 課	15	25	向上訓練推進員 1人 事業主委託先開拓員 1人 巡回就職支援指導員 1人 障がい者職業訓練アドバイザー 1人 障がい者職業訓練指導員 2人 障がい者職業訓練生活指導員 1人 障がい者職業訓練コーディネーター 1人
						機 械 制 御 科 シ ス テ ム 科	(4)		
						電 気 制 御 科 シ ス テ ム 科	(3)		
						情 報 制 御 科 シ ス テ ム 科	(3)		
						自 動 車 整 備 科	(2)		
						建 築 デ ザ イ ン 科	(3)		
						能 力 開 発 課	3		
						計	18		
会 津	昭和36年4月 〒969-3534 喜多方市塩川町遠田字沼上1900 TEL (0241-27-3221(代)) FAX (0241-27-3312) 22,480.00㎡(敷地) 6,929.93㎡(建物)	1	1	2	2	教 務 課	10	17	向上訓練推進員 1人 事業主委託先開拓員 1人 巡回就職支援指導員 1人
						電 気 シ ス テ ム 科	(2)		
						自 動 車 実 務 科	(3)		
						環 境 シ ス テ ム 科	(2)		
						観 光 サ ー ビ ス 科	(3)		
						能 力 開 発 課	1		
計	11								
浜	平成7年4月 〒975-0036 南相馬市原町区萱浜字巢掛場 45-112 TEL (0244-26-1555(代)) FAX (0244-26-1550) 39,985.70㎡(敷地) 7,961.68㎡(建物)	1	1	2	2	教 務 課	11	18	向上訓練推進員 1人 事業主委託先開拓員 1人 巡回就職支援指導員 1人
						電 子 制 御 科	(3)		
						自 動 車 整 備 科	(3)		
						ア バ レ ル シ ス テ ム 科	(2)		
						建 築 技 術 科	(3)		
						能 力 開 発 課	1		
計	12								
合 計		3	3	7	6		41	60	

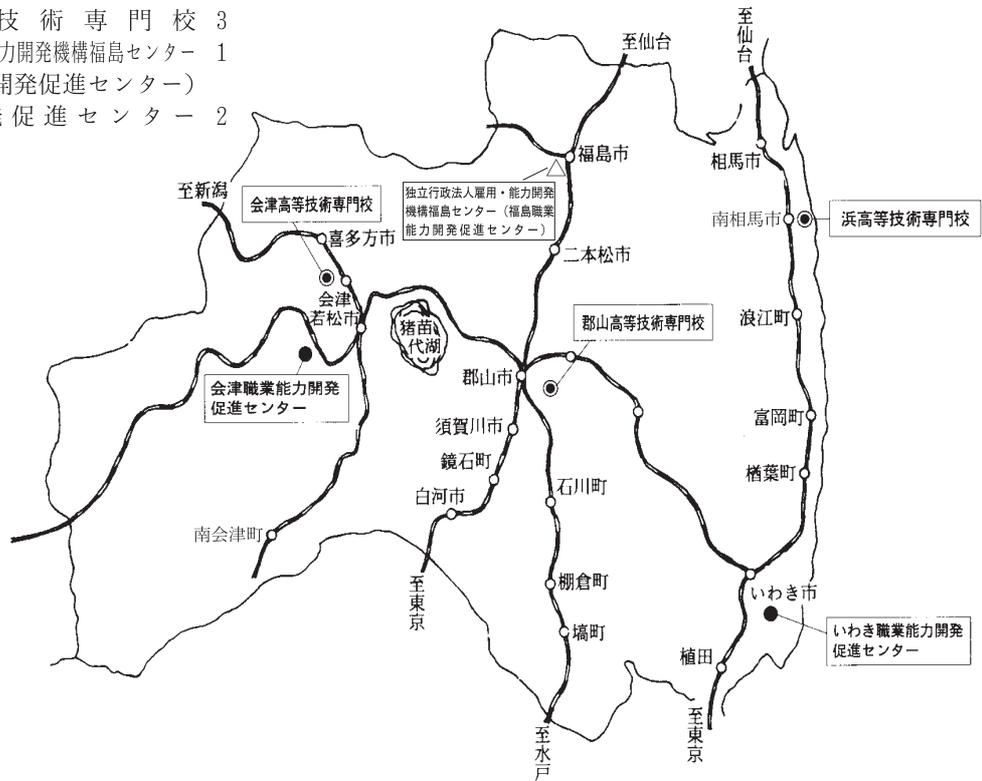
(3) 独立行政法人雇用・能力開発機構福島センター（県内各職業能力開発促進センターを含む）

区分	所在地 敷建物 総面積	職員数	訓練科目	期間
福島	〒960-8054 福島市三河北町7-14 TEL (024-534-3637・3644) FAX (024-534-3638) 19,849.40㎡（敷地） 11,038.94㎡（建物）	74人	テクニカルマネジメント科	6ヶ月
			テクニカルメタルワーク科	
			電気・通信施工技術科	
			住宅リフォーム技術科	
			ビジネスワーク科	
			マネジメント情報システム科	4ヶ月
			生産システム科制御コース	
			オフィスワーク・経理科 （総務コース）	
			オフィスワーク・営業科	
			機械加工技術科	
生産システム科制御コース				
いわき	〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場1-1 TEL (0246-26-1231・1232) FAX (0246-26-1237) 36,725.87㎡（敷地） 8,967.27㎡（建物）	25	テクニカルオペレーション科	6ヶ月
			金属加工科	
			電気設備科	
			ビジネスワーク科	
			住宅サービス科	
			溶接施工科（短期デュアル）	
会津	〒965-0858 会津若松市神指町大字南四合字深川西292 TEL (0242-26-0515) FAX (0242-26-1585) 24,887.54㎡（敷地） 7,531.73㎡（建物）	15	ビジネスワーク科	6ヶ月
			住宅リフォーム技術科	
			テクニカルオペレーション科	
			情報システムサービス科	
			機械加工技術科	

4 公共職業能力開発施設

(1) 県内の公共職業能力開発施設等配置図

- 県立高等技術専門校 3
- △ 独立行政法人雇用・能力開発機構福島センター 1
(福島職業能力開発促進センター)
- 職業能力開発促進センター 2



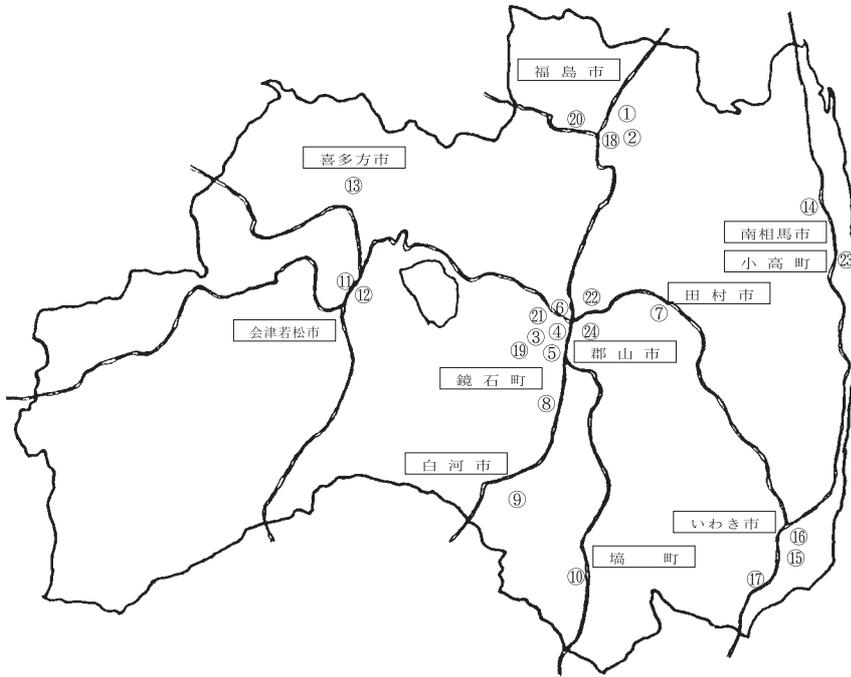
(2) 県内の公共職業訓練実施計画（訓練延定員）

() は訓練科数

訓練の種類	訓練対象者	新規高卒者等を対象	離転職者を対象	離転職者を対象	不安定就労若年者・学卒未就職者を対象 (日本版デュアルシステム)	離転職障がい者を対象	離転職障がい者を対象	在職者を対象
		訓練形態	施設内訓練	施設内訓練	施設外委託訓練	施設外委託訓練	施設外委託訓練	施設内訓練
	訓練期間	2年	3か月～6か月	1か月～5か月	4か月	1か月～3か月	6か月	12時間～120時間
施設名								
普通課程	郡山高等技術専門校	180 (5)						
	会津高等技術専門校	160 (4)						
	浜高等技術専門校	140 (4)						
	普通課程合計	480 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
短期課程	郡山高等技術専門校			55 (5)			10 (1)	270 (7)
	会津高等技術専門校			75 (12)	19 (2)	65 (21)		151 (5)
	浜高等技術専門校			35 (3)				200 (5)
県立校小計	0 (0)	0 (0)	165 (20)	19 (2)	65 (21)	10 (1)	621 (17)	
訓練	雇用・能力開発機構福島センター (福島職業能力開発促進センター)		570 (11)	480 (10)	405 (5)			
	いわき職業能力開発促進センター		357 (6)	245 (4)	30 (1)			
	会津職業能力開発促進センター		238 (5)		90 (2)			
	雇用・能力開発機構立施設小計	0 (0)	1,165 (22)	725 (14)	525 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
短期課程合計	0 (0)	1,165 (22)	890 (34)	544 (10)	65 (21)	10 (1)	621 (17)	
高度職業訓練	雇用・能力開発機構福島センター (福島職業能力開発促進センター)							659 (3)
	いわき職業能力開発促進センター							100 (2)
	会津職業能力開発促進センター							
	専門短期課程合計	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	759 (5)
合計	480 (13)	1,165 (22)	890 (34)	544 (10)	65 (21)	10 (1)	1,380 (22)	

5 認定職業能力開発施設

(1) 県内の認定職業能力開発施設等配置図



【共同認定職業訓練施設】

No.	施設の名称	摘要
1	福島共同高等職業訓練校	
2	福島県技能士会連合会	
3	郡山高等職業能力開発校	
4	郡山商工会議所ビジネス・スクール	
5	郡山美容職業訓練校	
6	郡山理容職業能力開発校	
7	田村建築共同高等職業訓練校	
8	県南地区共同高等職業訓練校	
9	白河地域高等職業訓練校	
10	東白地区建築共同高等職業訓練校	休校
11	会津共同高等職業訓練校	
12	会津漆器技術後継者訓練校	
13	会津喜多方建築高等職業訓練校	休校
14	原町建築高等職業訓練校	
15	いわき共同高等職業訓練校	
16	いわき理容美容職業訓練校	
17	いわきコンピュータ・カレッジ	
18	福島県清酒アカデミー職業能力開発校	
19	福島県板金高等職業訓練校	

【単独認定職業訓練施設】

20	会津建設職業能力開発校	休校
21	内藤工業所高等職業訓練校	休校
22	増子建築職業能力開発校	
23	水谷建設(株)小高研修センター	休校
24	ジョイ美容職業訓練校	

(2) 実施計画

訓練種類	訓練施設	訓練科数	訓練生数(人)	備考
普通職業課程	福島共同高等職業訓練校	5	26	共同
	郡山高等職業能力開発校	4	46	共同
	郡山美容職業訓練校	1	2	共同
	郡山理容職業能力開発校	1	4	共同
	田村建築共同高等職業訓練校	1	3	共同
	県南地区共同高等職業訓練校	2	13	共同
	白河地域高等職業訓練校	1	5	共同
	会津共同高等職業訓練校	1	8	共同
	会津漆器技術後継者訓練校	1	10	共同
	いわき共同高等職業訓練校	3	28	共同
	いわき理容美容職業訓練校	2	7	共同
	いわきコンピュータ・カレッジ	2	0	共同
	増子建築職業能力開発校	2	8	単独
	合計	26	160	
業訓練短期課程	福島共同高等職業訓練校	4	34	共同
	福島県技能士会連合会	10	155	共同
	郡山商工会議所ビジネス・スクール	10	81	共同
	県南地区共同高等職業訓練校	1	12	共同
	会津共同高等職業訓練校	3	25	共同
	原町建築高等職業訓練校	1	5	共同
	いわき共同高等職業訓練校	2	16	共同
	いわき理容美容職業訓練校	2	20	共同
	福島県清酒アカデミー職業能力開発校	3	29	共同
	福島県板金高等職業訓練校	2	50	共同
ジョイ美容職業訓練校	2	12	単独	
合計	40	439		

第2 職業能力開発行政の施策体系

〔20年度事業概要〕

1 ひとづくりに関する施策

(1) 若者の職業的自立の支援

- ① 若年者職業訓練事業（若年者対象）
若年者職業訓練事業〔委託訓練活用型〕（2コース／定員19名）
- ② 高等技術専門校を活用したマイスター教員育成事業（新）

(2) 支援が必要な者への職業能力開発

- ① 離職者等再就職職業訓練事業（離職者対象／定員165名）
- ② 母子家庭の母等の職業的自立促進事業（母子家庭の母等対象／定員21名）
- ③ 障がい者委託訓練事業（障がい者対象／定員65名）
- ④ 障がい者職業能力開発事業（知的障がい者対象／定員10名）
- ⑤ 職業訓練手当（障がい者や母子家庭の母への支援）

(3) 企業ニーズに対応した人材供給

- ① 普通職業訓練〔普通課程〕（高卒2年課程／13訓練科／定員480名）
- ② 職業訓練指導員研修
- ③ 高等技術専門校整備（機器・施設設備）
- ④ 高等技術専門校評価システム

(4) 企業の活力を支える人材育成

- ① 普通職業訓練〔短期課程〕（在職者等対象／43コース／定員631名）
- ② 認定職業訓練費補助事業
- ③ 福島県職業能力開発協会補助事業
- ④ 地域職業訓練センター

2 ものづくりに関する施策

(1) 技術・技能水準の向上

- ① うつくしいものづくり推進事業
 - ア 技能五輪全国大会参加促進事業
 - イ うつくしいものづくり創出事業
 - ウ ものづくり夢工房
- ② うつくしまものづくり大賞事業
- ③ 技能検定の実施（全国統一基準検定／136職種）
- ④ 卓越技能者表彰等事業（県名工等表彰等）
- ⑤ 職業訓練指導員試験の実施（職業訓練指導員免許）

(2) 熟練技能の継承

- ① 認定職業訓練費補助事業（再掲）
- ② 福島県職業能力開発協会補助事業（再掲）

3 環境づくりに関する施策

(1) 高等技術専門校の高度化・再整備

- ① ものづくり高度化人材育成事業

(2) 関係機関との連携強化

第3 平成20年度県事業計画と平成19年度県事業実績

1 ひとつづくりに関する施策

労働者自らが、生涯を通じた職業能力開発に取り組み、その個性と能力を十分発揮できる社会の実現に向けて、一人ひとりの職業能力開発を支援していく。

(1) 若者の職業的自立の支援

就労意欲の高い若年求職者、フリーター及びニート状態にある者に対して、相談に応じたり、企業と連携した実践的な訓練を提供するなど、職業的自立に向けた支援を行う。

また、職業意識を形成する上で、非常に大切な小・中・高等学校の時期において、職業に関する様々な体験を通じて修得させるために、教育機関等と連携して、職業観や創造性を育み、将来適切な職業選択ができるように支援を行う。

① 若年者職業訓練事業（日本版デュアルシステムの導入による若年者就職支援）

卒業後本格的雇用に至らない学卒者等若年者（フリーター、無業者を含む）への就職支援策として、次の訓練を実施する。

ア 委託訓練活用型

民間教育訓練施設での教育訓練と企業実習を組み合わせた訓練（委託訓練活用型デュアルシステム）

【20年度計画】

校名	訓練コース	訓練定員(人)
会津	4か月訓練コース	10
浜	4か月訓練コース	9

【19年度実績】

(単位：人)

校名	訓練コース	訓練定員	応募者	入校者	修了者	就職者
会津	4か月訓練コース	2	20	19	17	14

イ 普通課程活用型

高等技術専門校での教育訓練と企業実習を組み合わせた訓練（デュアルシステム）

【19年度実績】

(単位：人)

校名	訓練コース	訓練定員	応募者	入校者	修了者	就職者
浜	1年訓練コース	1	10	4	3	3

② 高等技術専門校を活用したマイスター教員育成事業（新）

高等技術専門校指導員が、工業系高校教員に対し技能検定における実技を中心とした技術講習を行い、それによりスキルアップされた教員が生徒の実技指導を行うことにより、高校生の3級技能検定合格者数の増加と地域の産業界が求める人材育成を図る。

【20年度計画】

高等技術専門校	職 種	工 業 系 高 校	日 程	計 画 日 数
郡 山	機械加工（普通旋盤）	郡山北工業高校 白河実業高校 勿来工業高校	8月、12月	各9日間
会 津	電子機器組立て	二本松工業高校 清陵情報高校 喜多方工業高校	8月～10月	
浜	電子機器組立て	福島工業高校 平工業高校 小高工業高校	8月～10月	

(2) 支援が必要な者への職業能力開発

就業意欲の高い子育て期の女性、障がい者、高齢者など、これまで十分な職業訓練を受けることができなかった者への訓練機会を拡充する。

さらに、様々な人が意欲や能力を活かせる職場環境づくりの支援を行う。

① 離職者等再就職訓練事業（離職者対象の委託職業訓練／定員165名）

離職者等求職者の早期就職を促進するため、公共職業安定所等関係機関との連携を図りながら、民間教育訓練機関、事業主団体等に短期間の職業訓練を委託し、実施している。

【20年度計画】

訓練コース (訓練期間)	知識等習得 (2～3月)		実習等訓練 (1～3月)		計	
	コース	延定員(人)	コース	延定員(人)	コース	延定員(人)
郡 山	5	50	5	5	10	55
会 津	12	50	7	25	19	75
浜	3	30	1	5	4	35
計	20	130	13	35	33	165

【19年度実績】

(平成20年6月末日現在)

訓練コース (訓練期間)	知識等習得 (2～3月)			実習等訓練 (1～3月)			計					実就職者数 (人)	就職率 (%)
	コース	延受講者 (人)	延修了者 (人)	コース	延受講者 (人)	延修了者 (人)	コース	延受講者 (人)	延修了者 (人)	実受講者 (人)	実修了者 (人)		
郡 山	4	23	22	4	18	18	8	41	40	24	23	10	43.5
会 津	12	57	53	7	23	23	19	80	76	58	54	30	55.6
浜	3	36	35	1	3	3	4	39	38	39	38	30	78.9
計	19	116	110	12	44	44	31	160	154	121	115	70	60.87

※「知識等習得コース」と「実習等訓練コース」を組み合わせ受講した者があるため、延人数は実人数を上回ることがある。

② 母子家庭の母等の職業的自立促進事業

就労経験がないか又は就労経験に乏しい母子家庭の母等に就職に必要な知識・技能の習得を図るため、職業訓練を委託し実施する。

【20年度計画】

校名	訓練コース	定員(人)
郡山	5	6
会津	6	9
浜	3	6
合計	14	21

【19年度実績】

(平成20年4月末日現在)

校名	訓練科	コース	受講者数(人)	修了者数(人)	就職者数(人)	就職率(%)
郡山	情報システム科	2	2	2	2	100.0
会津	経理事務科	2	3	2	2	100.0
	一般事務科	1	1	1	1	100.0
浜	情報ビジネス科	1	3	3	2	66.7
	一般事務科	1	3	3	2	66.7
合計		7	12	11	9	81.8

③ 障がい者委託訓練事業 (多様な委託先活用による障がい者雇用促進)

障がい者の雇用促進に資するため、企業、社会福祉法人、NPO、民間教育訓練機関等地域の多様な委託先を活用し、障がい者の能力、適性及び地域の障がい者雇用ニーズに対応した委託訓練を実施する。

【20年度計画】

訓練コース	知識・技能習得コース		実践能力習得コース		計	
	コース	定員(人)	コース	定員(人)	コース	定員(人)
郡山	3	30	6	6	9	36
会津	6	6	2	2	8	8
浜	2	19	2	2	4	21
計	11	55	10	10	21	65

【19年度実績】

(平成20年6月末日現在)

校名	訓練科	コース	受講者数(人)	修了者数(人)	就職者数(人)	就職率(%)
郡山	パソコン事務科	2	23	23	4	17.4
会津	一般事務科	3	5	5	3	60.0
浜	情報ビジネス科	1	10	7	2	28.6
合計		6	38	35	9	25.7

④ 障がい者職業能力開発事業

郡山高等技術専門校を障がい者職業能力開発事業の地域拠点として位置づけるとともに、知的障がい者に対する職業訓練を行う。

【20年度計画】

校名	訓練科	定員(人)
郡山	事務実務科	10

【19年度実績】

(平成20年3月末日現在)

校名	訓練科	受講者数(人)	修了者数(人)	就職者数(人)	就職率(%)
郡山	事務実務科	10	10	1	10.0

⑤ 職業訓練手当(障がい者や母子家庭の母への支援)

公共職業安定所長から職業のあっせんを受けることが適当であると認められる障がい者や母子家庭の母等の就職が困難な求職者が、公共職業安定所長の指示により、公共職業能力開発施設で行う職業訓練を受講する場合に、県が訓練手当を支給し、就職促進を図る。

訓練手当としては、基本手当、受講手当、通所手当、寄宿手当があり、内訳は下記のとおり。

- ・基本手当 訓練を受ける期間に応じて支給
(1級地 日額4,310円、2級地 日額3,930円、3級地 日額3,530円。なお、本県においては、福島市が2級地、他の市町村は3級地となっている。)
- ・受講手当 訓練を受けた日数に応じて支給(日額500円)
- ・通所手当 通所距離が2km以上で交通機関等又は交通用具利用者に支給(限度額月額42,500円)
- ・寄宿手当 支給対象者により生計を維持されている同居の親族がいる場合、訓練を受けるために別居して寄宿した期間に応じて支給(月額10,700円)

訓練期間は、県内において受講される方については、概ね3か月から6か月。県外において受講される方については、1年から2年。

【20年度計画】

県外訓練施設枠

	実人員	予算額	支給対象者
20年度	5人	7,951千円	障がい者

県内訓練施設枠

	実人員	延月数	予算額	支給対象者
20年度	17人	85月	11,046千円	障がい者・母子家庭の母等

【19年度実績】

県外訓練施設

	実人員	延月数	予算額	支給対象者
19年度	11人	108月	12,600千円	障がい者

県内訓練施設

	実人員	延月数	予算額	支給対象者
19年度	13人	42月	5,030千円	障がい者・母子家庭の母等

(3) 企業ニーズに対応した人材供給

県立高等技術専門校において、多様に変化する企業ニーズに対応した人材を育成し、企業に活力ある人材を供給する。

① 普通職業訓練〔普通課程〕

高等技術専門校において、新規学卒者を対象に本県産業界の要請に応えることのできる技能者を養成するため教育訓練を実施する。

【20年度計画】

校名	訓練期間	訓練科	定員(人)	備考
郡山	2年課程	5	180	
会津	2年課程	4	160	
浜	2年課程	4	140	
合計	2年課程	13	480	

【19年度実績】

校名	訓練期間	訓練科	定員(人)	入学者(人)	修了者(人)
郡山	2年課程	5	200	105	99
会津	2年課程	4	160	76	63
浜	2年課程	4	160	68	72
合計	2年課程	13	520	249	234

◇ 年度別実施状況（過去5年間）

【入学者の状況】

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
定員(人)	260	260	260	260	220	
応募者(人)〔応募倍率〕	507〔1.95〕	460〔1.77〕	356〔1.37〕	429〔1.65〕	256〔1.16〕	
入学者(人) 〔入学率〕	高卒	267	255	250	246	192
	短大卒以上	2	2	1	3	0
	合計	269〔103.5〕	257〔98.8〕	251〔96.5〕	249〔95.8〕	192〔87.3〕
中退者(人)	8〔3.0〕	12〔4.7〕	17〔6.8〕	14〔5.6〕	—	

【修了者の状況】

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
修了者(人)		229	270	258	241	234
修了者の 就職状況 (人)	県内	206	254	230	213	177
	県外	10	8	20	25	51
	自営等	10	6	6	2	3
	その他 (進学・公務員)	3	2	2	1	3
就職率(%)		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

② 職業訓練指導員研修

技術革新の進展や産業構造の変化等、経済社会の変化に伴い訓練ニーズも高度化、多様化している。このような状況に対応して、職業訓練指導員の資質の向上を図るため、研修を行う。

研修名	平成20年度計画		平成19年度実績	
	コース数	派遣延人数	コース数	派遣延人数
新採用職員研修	1	2	—	—
自己啓発研修(研究発表会)	—	—	1	40
雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校派遣 (専門技術等)	11	11	16	17
雇用・能力開発機構 高度職業能力開発促進センター派遣	2	2	9	9
自動車整備振興会派遣	2	12	2	16
企業等派遣	6	6	14	18
オーダーメイド研修	1	2	1	3
指導員高度化研修	1	1	2	2
大学等派遣	1	1	—	—

③ 高等技術専門校整備（機器・施設設備）

ア 機器整備

地域の職業能力開発ニーズに対応した県立高等技術専門校とするため、機器整備等を図る。

校名	科 名	開設年度	平成 20 年度 計画	平成 19 年度 実績
郡山	機械制御システム科	平成 4 年度	専門課程の整備として機械工学実験装置(1) 外(5)	—
	電気制御システム科	平成 4 年度	専門課程の整備としてコンピュータ制御実験装置(1) 外(5)	—
	情報制御システム科	平成 6 年度		オシロスコープ
	自動車整備科	昭和58年度	—	—
	建築デザイン科	平成 3 年度	複写機（リース）(1)	—
	共通機器		—	—
会津	電気システム科	平成15年度	プログラマブルコントローラ(5)	—
	自動車実務科	昭和58年度	タイヤ交換機(1)	—
	環境システム科	平成 3 年度	自動製図機械（CAD）(15)、ガス溶接機(5)	自動製図機械（CAD）
	観光サービス科	平成13年度	—	—
	共通機器		—	—
浜	電子制御科	平成 7 年度	—	CADソフト、PICライター、プログラマブルコントローラソフト
	自動車整備科	平成 7 年度	オシロスコープ(2)、ベンチエンジン故障診断ツール(5)、ブリッジ(1)	ベンチエンジン故障設定ツール一式
	アパレルシステム科	平成 7 年度	—	ドレスフォーム、三面鏡、2本針片面飾りミシン、三連折りたたみ式展示板
	建築技術科	平成 7 年度	枠組み足場(2)	シュミットコンクリートテストハンマー、シュミットコンクリートテストハンマーアンビル
	共通機器		プロジェクター(1)	—

イ 施設設備工事

高等技術専門校の施設の維持管理のための修繕工事等を実施する。

校名	平成 20 年度 計画	平成 19 年度 実績
郡山	管理棟内部改修工事	寄宿舎棟外壁改修工事
	実習棟（第1・2・3）内部改修工事	体育館外壁他改修工事
	管理棟耐震改修工事	
	実習棟（第1・2・3）耐震改修工事	
	新実習棟増築工事	
会津		渡り廊下（南側）耐震診断委託

④ 高等技術専門校評価システム

平成15年度から、郡山・会津・浜の各高等技術専門校において、評価システムの運用を開始した。

目 的

福島県立高等技術専門校が地域の産業構造の変化や企業ニーズ等に適時的確に対応していくため、マネジメントサイクル（計画・実施・評価・改善）の確立により、高等技術専門校における職業能力開発及び運営の改善を図る。

評価の実施方法

内部評価：各高等技術専門校による自己点検・評価（現状の把握と課題の確認）を行う。

外部評価：評価委員会（第三者機関）による地域及び産業の視点に立った評価を行う。

評価の対象分野

職業能力開発分野（普通訓練課程・在職者訓練・離転職者訓練）及び運営を対象とする。

具体的な評価項目は、「評価表」に定める。

評価の手順

内部評価：最初に、各高等技術専門校が「評価表」により自己点検・評価を行う。

外部評価：内部評価の終了後、評価委員会が各高等技術専門校において実地審査を行いながら、「評価表」により評価を行う。

評価後の改善

各高等技術専門校は、内部評価結果及び外部評価結果を踏まえ、課題を設定し、計画的に改善を行う。

評価結果、改善実施結果の公表

内部評価結果、外部評価結果、平成16、17年度改善実施結果については、県庁ホームページ http://www.pref.fukushima.jp/syoko/jinzai/03_tech/E01.htm に公表している。

(4) 企業の活力を支える人材育成

技術革新の進展等により、労働者に求められる職業能力は多様化・高度化してきている。このような中、教育訓練への取り組みが困難な企業に対し、それぞれの企業の実績に対応した在職者訓練などを実施する。

① 普通職業訓練〔短期課程〕（在職者等対象／42コース／定員621名）

地域企業の事業の高度化や多角化に対応し、在職者等を対象に新たな知識・技能や高度な知識・技能を付与するための教育訓練を実施する。

【20年度計画】

校名	訓練コース	定員(人)
郡山	16	270
会津	12	151
浜	15	210
合計	43	631

【19年度実績】

校名	訓練コース	定員(人)	受講者(人)	修了者(人)
郡山	18	300	190	157
会津	12	164	131	108
浜	16	215	195	160
合計	46	679	516	425

② 認定職業訓練費補助事業

ア 認定職業訓練

認定職業訓練は、事業主がその雇用労働者に対して自らの創意と責任において職場に必要な知識及び技能を習得させ、又は向上させるために行う事業内職業訓練のうち、訓練内容が、職業能力開発促進法に定める教科、訓練期間、設備等の基準に合致した訓練である旨の知事の認定を受けた訓練である。

認定を受けた訓練を実施する事業主及び団体は、公共職業能力開発施設の利用、職業訓練指導員の派遣、訓練経費の助成、労働基準法及び最低賃金法の特例措置の適用が受けられる。

平成19年度の認定職業訓練実施計画は、普通課程において、実施事業所1、実施団体13、訓練生数190人を、短期課程は、実施事業所1、実施団体10、訓練生のべ定員729人をそれぞれ予定している。

なお、県内の認定職業訓練施設の配置については（P7）を、また、認定職業訓練実施状況の推移及び認定職業訓練施設一覧は参考資料（P49～57）を参照。

イ 認定職業訓練費補助事業

認定職業訓練の促進を図るため、普通課程または短期課程の普通職業訓練を行う中小企業事業主またはその団体に対し、認定職業訓練事業の実施に要する経費の一部を補助する。

〔補助額〕

(ア) 普通課程

1 訓練科当たりの固定費＋〔共同校：教務補助職員経費＋訓練生募集経費＋訓練生定着促進経費〕＋補助単価×訓練生数（補助対象経費の2／3以内）

(イ) 短期課程

補助単価×訓練生数（補助対象経費の2／3以内）

【20年度計画】

	普通課程	短期課程
補助対象校	12校 (共同校11校、単独校1校)	9校 (共同校のみ)
補助対象人員	150人	419人(のべ定員)

【19年度実績】

	普通課程	短期課程
補助対象校	13校 (共同校12校、単独校1校)	9校 (共同校のみ)
補助対象人員	171人	648人(のべ定員)

③ 福島県職業能力開発協会補助事業

ア 福島県職業能力開発協会

民間における職業能力開発を推進するための指導団体として、職業能力開発促進法に基づき、福島県職業能力開発協会が設立されている。

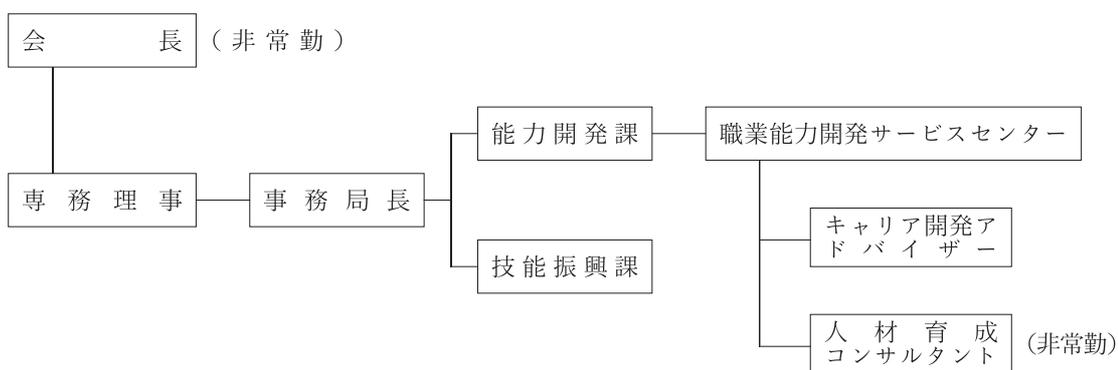
(ア) 所在地 福島市中町8番2号 福島県自治会館5階

(イ) 会長 鈴木長九郎

(ウ) 業務内容

- (a) 技能検定試験に関する業務
- (b) コンピューターサービス技能評価試験等の実施
- (c) 認定職業訓練関係者等の研修
- (d) 技能五輪全国大会参加促進事業の実施
- (e) 職業能力の開発に関する情報・資料の提供、広報、調査及び研究

(エ) 組織図



イ 福島県職業能力開発協会補助事業

技能検定試験の実施や民間における職業能力開発の振興を図るため、福島県職業能力開発協会に対して、その運営費の一部を補助する。

④ 地域職業訓練センター

事業主がその雇用する労働者に対して行う職業教育訓練、地方公共団体等が地域住民に対して行う多様な職業教育訓練（各種講習、講座、市民教室等）の場として、独立行政法人雇用・能力開発機構が郡山、白河の2カ所にセンターを設置し、その管理運営について、郡山については(財)郡山市文化・学び振興公社が、白河については当該市が受託している。

	所在地	職員数(人)	利用状況		
			年度	開館日数(回)	利用延人員(人)
郡山	〒963-8005 郡山市清水台1丁目6-1 (024-932-7900)	5	17	319	34,685
			18	345	37,259
			19	346	34,893
白河	〒961-0053 白河市字中田140 (0248-22-3512)	1	17	324	19,068
			18	327	21,597
			19	355	36,427

2 ものづくりに関する施策

本県ものづくり産業の発展を図るため、技能検定制度の普及促進・ものづくりデザインに関する支援など技術・技能水準の向上や、熟練技能の円滑な継承を促進していく。

(1) 技術・技能水準の向上

技能検定制度の普及促進やものづくりデザインに関する支援など、技能水準を向上させる取組みを進める。

① うつくしいものづくり推進事業

平成13年に第39回技能五輪全国大会を本県で開催したが、この大会の成果を継承して、若者が広くものづくりの技能に触れる機会を提供する等、ものづくりの基盤育成を図るとともに、国・県の名工に代表される卓越技能の保存・継承を図る。

ア 技能五輪全国大会参加促進事業（選手育成・派遣支援等）

平成13年度の本県での開催以降も継続して、選手の参加を促進し、次代を担う技能者の技能水準の向上及び民間の技能振興への取組みの促進を図る。

【20年度計画】

- ・時期 平成20年10月31日（金）～11月3日（月）
- ・場所 千葉県（幕張メッセほか）

【19年度実績】

- ・時期 平成20年2月29日（金）～3月3日（月）
- ・場所 千葉県（幕張メッセほか）
- ・参加選手数 7職種17名（5職種11名入賞）

イ うつくしいものづくり創出事業

デザイナーと県内事業者（ものづくり団体等）との交流会の開催等により、企業のデザイン開発力の向上及びデザインの重要性に対する認識を高めるための支援を行う。

【20年度計画】

- (a) デザイナーと県内事業者との交流会
- (b) うつくしまものづくり大賞入賞製品の展示、モニタリング調査

【19年度実績】

- (a) デザイナー等との意見交換会
- (b) うつくしまものづくり大賞入賞製品の展示、モニタリング調査

ウ ものづくり夢工房

若者のものづくり離れに歯止めをかけるため、広くものづくりへの理解を深め、その魅力や社会的重要性が体験的に理解できるような機会を提供する。

【20年度計画】

- (a) ものづくり夢工房の開催

児童を対象としたものづくり体験教室や優れた技能者等による技能の実演・展示等を行う。

- ・時 期 平成20年11月1日（土）・2日（日）
- ・会 場 いわき市
- ・出展者 各職種別技能士団体及び民・工芸品製造団体等

【19年度実績】

- (a) うつくしまものづくり夢工房

- ・時 期 平成19年6月から平成20年2月までの主として土日
- ・出展者 各職種別技能士団体及び民・工芸品製造団体等
- ・内 容 （次のページのとおり）

回数	開催日	イベント・会場	内容	体験者数(名)
1	6月30日(土) 7月1日(日)	「第7回うつくしまこども博」 会場 ビッグパレットふくしま 郡山市安積町	勾玉作り体験、ペンスタンド の木挽きと絵付け体験、マグ カップの絵付け体験、タルト 菓子作り体験、竹楽器演奏鑑 賞と竹楽器作り体験	686
2	7月28日(土) 29日(日)	ムシテックワールド 須賀川市虹の台	勾玉作り体験、組子コースター 作り体験、正多面体サッカー ボール作り体験、竹楽器演奏 鑑賞と竹楽器作り体験、ベネ チアンガラスペンダント作り 体験、木の枝クラフト作り、 和紙を使った“からくり小物 箱”作り体験	213
3	9月8日(土) 9日(日)	こむこむ館 福島市早稲町	ミニ掛け軸作り体験、ショ ートケーキ作り体験、コースター 機織体験、半丸盆の蒔絵体験、 木の枝クラフト作り体験	315
4	10月27日(土) 28日(日)	「会津ブランドものづくりフェ ア'07」会場 会津ドーム 会津若松市門田町	ミニ畳のコースター作り体験、 木のいす・プランター作り体 験、コースター機織体験、来 年の干支(子)の絵付け体験	691
5	11月3日(土) 4日(日)	「いわき産業祭」会場 いわき市産業創造館	ろくろ成型加工体験、勾玉作 り体験、ひのきの二段伏差し 作り	134
6	2月23日(土) 24日(日)	マイタウン白河 白河市本町	ペンスタンド作り体験、ミニ 畳のコースター作り体験、ミ ニついたて、組子コースター 作り体験	82
合			計	2,121

エ 親子ものづくり体験教室の開催

地域に開かれたものづくり人材養成施設として、地域の親子を対象としたものづくり体験教室を高等技術専門校で開催する。

【20年度計画】

- ・時期 7月26日(土)(※2)、7月27日(日)(※1・3)
- ・会場 各高等技術専門校(郡山校(※1)・会津校(※2)・浜校(※3))

【19年度実績】

- ・時期 7月22日(日)(※1)、7月21日(土)(※2)、7月29日(日)(※3)
- ・会場 各高等技術専門校(郡山校(※1)・会津校(※2)・浜校(※3))
- ・参加者 151名
- ・内容 本革コインケース製作、卓上プラネタリウム製作、マイコン制御「ミニ」扇風機製作、蒸気船の製作、スライド式多機能本立て製作、歩くロボット製作、エコテープを使ったかご製作、木製イス製作、ラジコン製作

オ 高校生ものづくり支援事業の実施

各高等技術専門校において、高校生を対象としたものづくり技能に係る実技体験教室を開催する。

【20年度計画】

- ・時 期 7月26日（土）（※1・2）、7月27日（日）（※1・3）、8月24日（日）（※1）、9月21日（日）（※1）
- ・場 所 各高等技術専門校（郡山校（※1）・会津校（※2）・浜校（※3））

【19年度実績】

- ・時 期 7月21日（土）（※1・2）、7月29日（日）（※3）
- ・会 場 各高等技術専門校（郡山校（※1）、会津校（※2）、浜校（※3））
- ・受講者 145名
- ・内 容 カオス振り子製作・実験、PLCを使ったスロットマシン製作、組込マイコンを使用した開発体験、エンジンオーバーホール体験、マガジンラック製作、模擬ウェディング体験・テーブルマナー、配管切断・ねじ切り作業、電線の輪切り・もと巻き接続・ねじり接続、電子ピアノ製作、タイヤ交換・オイル交換体験、住宅模型作成

② うつくしまものづくり大賞事業

「うつくしまものづくり大賞」の顕彰制度を通じて、「うつくしいものづくり」の理念に基づく製品開発を促進するとともに、様々な機会をとらえたふくしま発製品の積極的なPRやマッチング、販路開拓を支援し、売れるものづくりの推進を図る。

■ 募集対象

「21世紀の生活文化」を向上させる高品質、高機能の「うつくしいものづくり」を実現した製品。

※ 商品化後、概ね3年を経過していない最終製品

■ 応募資格

県内の事業者（県内に事業所を有する事業者）及びこれらの事業者で構成するグループ

■ 賞の種類

大賞、優秀賞、特別賞、クリエイティブ賞

■ 審 査

デザイナー、技術・技能等の専門家、学識経験者からなる審査委員によって審査委員会を設置し、造形的な美しさ、優れた機能の実現等の審査基準に基づいて審査を行う。

③ 技能検定の実施（全国統一基準検定/136種）

技能検定は、労働者の有する技能を一定の基準によって検定し、これを公証する技能の国家検定制度であり、労働者の技能と地位の向上を図り、ひいては我が国の産業の発展に寄与しようとするものであり職業能力開発促進法に基づいて実施されている。

この検定は、政令で定める職種ごとに特級、1級、2級、3級、随時3級、基礎1級、基礎2級及び単一等級に区分され、知事が実施するものであるが、試験については福島県職業能力開発協会が知事の委任を受け、年2回（前期・後期）実施している。

【20年度計画】

- ・実施時期 前期（6～9月）、後期（12～2月）
- ・合格発表 前期（10月ただし、3級のみ8月）、後期（3月）

【19年度実績】

- ・受検申請者数（全等級） 前期 2,234名 後期 2,251名 計 4,485名
- ・実施状況（合格者数） 前期 1,110名 後期 1,061名 計 2,171名

④ 卓越技能者表彰等事業（県名工等表彰）

技能者表彰制度は、産業の振興及び技能水準の向上を図ることを目的とし、厚生労働大臣が卓越した技能者を表彰する技能者表彰制度（「現代の名工」、昭和42年度より実施）、知事が本県最高水準の技能を有し、他の技能者の模範としてふさわしい卓越した技能者を表彰する福島県技能者表彰制度（「県の名工」、昭和51年度より実施）がある。

また、認定職業訓練及び技能検定の推進と技能水準の向上に資するため、認定職業訓練、技能検定功労者及び技能振興功労団体に対する厚生労働大臣、職業能力開発功労者等に対する知事の表彰制度がある。

【20年度計画】

- ・卓越した技能者を表彰する技能者表彰制度（現代の名工）
表彰式 10～11月
場 所 東京都
- ・卓越した技能者を表彰する福島県技能者表彰制度（県の名工）
表彰式 11月
場 所 福島市

【19年度実績】

- ・卓越した技能者を表彰する技能者表彰制度（現代の名工）
表彰式 平成19年10月31日（水）
場 所 東京都
受彰者 阿部 隆（アーク溶接工）、熊田智光（男子服仕立職工）
- ・卓越した技能者を表彰する福島県技能者表彰制度（県の名工）
表彰式 平成19年11月26日（月）
場 所 福島市
受彰者 阿部照夫（理容師）、太田 剛（板金工）、加藤清春（男子服仕立職）、鎌田敬次（酒類製造工）、川名研二（鉄道車両組立工・修理工）、儀同哲夫（漆器工）、後藤 忠（植木職・造園工）、菅井正男（塗装工）、中島重夫（金属工作機械工）、増子則雄（大工）、室井満昭（左官）、雪下常雄（大工）、吉田克浩（畳工） 12職種13名
- ・知事感謝状受彰者
職業能力開発事業功労者（1名）
山岸信次（（訓）会津職業訓練協会）

優良職業訓練指導員（1名）

増子 幸（郡山高等職業能力開発校）

優良技能検定委員（13名）

梅津良子（学校法人今泉学園今泉女子専門学校）、大八木好治（会津オリンパス㈱会津トレーニングセンター）、菊地賢太郎（㈲キクチ写真館）、草野 拓（福島岩通㈱）、斎藤弘司（天馬㈱新白河工場）、斎藤俊一（ムネカタ㈱）、三瓶光彦（㈲三瓶塗装店）、鹿野正道（学校法人永和学園日本調理技術専門学校）、鈴木 昇（独立行政法人雇用・能力開発機構福島センター）、鈴木正二（富士工業㈱）、橋本弥市（北辰通商㈱）、松本規明（富士工業㈱）、柳沼則芳（ソニーエナジーデバイス㈱郡山事業所）

⑤ 職業訓練指導員試験の実施（職業訓練指導員免許）

公共職業訓練及び認定職業訓練においては、原則として知事の免許を受けた者でなければ職業訓練を担当することができないことになっており、その免許申請資格者は、④指導員訓練のうち長期課程または専門課程等を修了した者、③職業訓練指導員試験に合格した者、その他④又は③に掲げた者と同等以上の能力を有すると認められる者などである。

【20年度計画】

- ・実施職種 指導方法〔全職種〕
- ・実施時期 平成20年9月27日（土）
- ・試験会場 郡山市労働福祉会館

【19年度実績】

- ・実施職種 指導方法〔全職種〕、関連学科及び実技試験〔ホテル・旅館・レストラン科〕
- ・実施時期 平成19年9月15日（土）
- ・試験会場 福島県立郡山高等技術専門学校
- ・実施状況 受験申請者数 58名
合格者数 41名

(2) 熟練技能の継承

2007年問題などにより技能水準が低下しないよう、職能協会に設置した「技能継承等支援センター」において、中小企業等に対する総合的な相談を行うなど、次世代へのものづくりの技能継承を促進する。

- ① 認定職業訓練費補助事業（※再掲 P18参照）
- ② 福島県職業能力開発協会補助事業（※再掲 P19参照）

3 環境づくりに関する施策

個性と能力を十分発揮できる社会を実現するための「ひとづくり」と「ものづくり」を効果的に推進していくため、高等技術専門校の高度化・再編整備を進めるとともに、関係機関等との連携強化を図っていく。

(1) 高等技術専門校の高度化・再編整備

人口減少社会の進行、経済のグローバル化などによる国際競争の激化などの環境変化に対応する人材の育成を図るため、郡山校が平成21年4月、会津校と浜校が22年4月の開設を目指して、高等技術専門校を改編し、短期大学の専門課程と普通課程を併せ持つテクノアカデミーの整備を推進する。

① ものづくり高度化人材育成事業

- ア 郡山校の実習棟増築、改修工事
- イ 郡山校の専門課程訓練に必要な機器整備
- ウ 会津・浜校の施設改修のための設計委託
- エ 専門課程準備検討会の設置

専門課程の学科ごとにカリキュラム策定等のための検討会を設置する。(外部から専門的な知識を有する人材を招聘し、助言・指導を受ける。)

- オ 高等技術専門校の指導員に対する研修

専門課程を担当する指導員に対し、指導教科内容を習得するための研修を実施する。

(2) 関係機関等との連携強化

厚生労働省福島労働局（公共職業安定所）と独立行政法人雇用・能力開発機構等との緊密な連携を図りながら、訓練内容を設定し、在職者・離職者等に対する効果的な職業訓練を行う。

また、企業が求める訓練ニーズに応じていくため、民間教育訓練機関等と役割分担・連携し、多様な職業訓練機会を提供する。

統 計 資 料 等

- 1 平成20年度当初予算の概要
- 2 公共職業能力開発施設の20年度入学・応募状況／19年度入学・修了状況
- 3 認定職業訓練実施状況の推移／認定職業訓練施設一覧
- 4 技能照査実施状況
- 5 職業訓練指導員免許交付状況／職業訓練指導員試験実施状況
- 6 技能検定実施状況
- 7 ものづくりフェスタ実施状況
- 8 技能競技大会での成績
- 9 うつくしまものづくり大賞
- 10 技能者表彰一覧
- 11 県立高等技術専門校の変遷
- 12 関係団体等一覧／出先機関等一覧

1 平成20年度当初予算の概要

(単位：千円)

款 項 目	事 項	予 算 額	財 源 内 訳		事 業 説 明
			特定財源	一般財源	
労 働 費		1,450,806	724,634	726,172	
職業訓練費		1,450,806	724,634	726,172	
職業訓練 総務費		92,434		92,434	
	職 員 費	90,077		90,077	職員10人
	運 営 費	2,357		2,357	事務経費
技 術 専 門 校 費		1,251,378	674,386	576,992	
	職 員 費	520,275	174,444	345,831	職員63人
	運 営 費	111,785	29,528	82,257	1 高等技術専門校運営費 2 高等技術専門校管理経費
	普通課程訓練費	71,976	39,161	32,815	1 普通課程訓練経費
	短期課程訓練費	102,797	91,570	11,227	1 離職者等再就職訓練事業費 2 母子家庭の母等の職業的自立促進事業 3 障がい者委託訓練事業費 4 障がい者職業能力開発事業 5 技能向上訓練経費 6 訓練手当 7 若年者職業訓練事業費 8 技専校を活用したマイスター教員育成事業
	技 術 専 門 校 整 備 費	441,815	338,320	103,495	1 ものづくり高度化人材育成事業 2 施設設備整備事業費
	職業訓練指導員 研 修 費	2,730	1,363	1,367	1 職業訓練指導員研修経費
職業訓練 指導費		106,994	50,248	56,746	
	技能尊重推進費	8,500	1,002	7,498	1 うつくしいものづくり推進事業 2 技能尊重推進実施経費 3 うつくしまものづくり大賞事業
	事業内職業訓練 指 導 費	47,153	23,576	23,577	1 福島県認定職業訓練費補助金
	能力開発促進費	51,341	25,670	25,671	1 福島県職業能力開発協会費補助金
計		1,450,806	724,634	726,172	

2 公共職業能力開発施設の20年度入学・応募状況／19年度入学・修了状況

1. 公共職業能力開発施設実施状況

(1) 高等技術専門校

① 普通職業訓練の普通課程（施設内訓練）

新規学卒者を対象に地域社会の要請に応える技能者を養成するための訓練を実施する。

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員(人)	訓練期間	訓練開始月	施設内外
郡山高等技術専門校	機械制御システム科	40	2年	4月	施設内訓練
	電気制御システム科	40	2年	4月	施設内訓練
	情報制御システム科	40	2年	4月	施設内訓練
	自動車整備科	20	2年	4月	施設内訓練
	建築デザイン科	40	2年	4月	施設内訓練
小計		180			
会津高等技術専門校	電気システム科	40	2年	4月	施設内訓練
	自動車実務科	40	2年	4月	施設内訓練
	環境システム科	40	2年	4月	施設内訓練
	観光サービス科	40	2年	4月	施設内訓練
小計		160			
浜高等技術専門校	電子制御科	40	2年	4月	施設内訓練
	自動車整備科	40	2年	4月	施設内訓練
	アパレルシステム科	20	2年	4月	施設内訓練
	建築技術科	40	2年	4月	施設内訓練
小計		140			
合計		480			

② 普通職業訓練の短期課程（離職者等再就職訓練）

雇用情勢の厳しい状況の中、離転職者を対象に職業に必要な技能・知識を習得するための訓練を教育訓練機関等に委託して実施する。

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員(人)	訓練期間	訓練開始月	備考
郡山高等技術専門学校	パソコントレーニング科	50	3か月	6、7、8、9月	知識等習得コース
	事業主委託訓練	5	3か月	随時	
小計		55			平成19年度定員85人
会津高等技術専門学校	経理事務科	15	3か月	4、6、8月	知識等習得コース
	経理事務実務科	11	3か月	4、6、8月	
	一般事務科	15	2か月	5、7、9月	
	一般事務実務科	9	2か月	5、7、9月	
	経理事務実務科 (組合せ)	11	2か月	7、9、11月	実習等訓練コース
	一般事務実務科 (組合せ)	9	1か月	7、9、11月	
	事業主委託訓練	5	3か月	随時	
小計		75			平成19年度定員71人
浜高等技術専門学校	情報ビジネス科	30	3か月	6、9月	知識等習得コース
	事業主委託訓練	10	3か月	随時	実習等訓練コース
小計		35			平成19年度定員40人
合計		165			平成19年度定員196人

【平成19年度実績】

普通職業訓練の短期課程（離職者等再就職訓練）

（単位：人）

(1) 就職促進訓練（知識等習得コース）

平成20年3月末日現在

施設名	区分 訓練科目	当該年度定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	前年度繰越者数	入学者数	年齢別入学者				中退者数		修了者数	就職状況					委託先場所または実施場所名	
								29歳以下	30～44歳	45～59歳	60歳以上	うち就職者	その他		雇用	うち関連	自営	うち関連	その他		
郡山高等技術専門学校	①情報システム科 (中級) (組み合わせ訓練の座学)	20	3か月	7、10月	13		11 (8)	4	4	3		1	1	10 (8)							富士通オフィス機器㈱ (福島市)、 ㈱ミラクルネット (郡山市)
	②情報システム科 (デザイン) (組み合わせ訓練の座学)	10	3か月	8月	8		7 (4)	5	1	1				7 (4)							エヌケーテック㈱ (郡山市)
	情報システム科 (初級)	10	3か月	9月	5		5 (5)	1	3	1				5 (5)	2						㈱ばすわーど (須賀川市)
	小計	40			26	0	23 (17)	10	8	5	0	1	1	22 (17)	2	0	0	0	0		
会津高等技術専門学校	経理事務科	15	3か月	5、7、9月	20		16 (13)	3	7	6		3	1	13 (10)	9	8					㈱トコム (会津若松市)、 ㈱みとみ (会津若松市)
	③経理事務実務科 (組み合わせ訓練の座学)	9	3か月	5、7、9月	13		12 (9)	3	2	7				12 (9)							㈱トコム (会津若松市)、 ㈱みとみ (会津若松市)
	一般事務科	15	2か月	4、6、8月	19		19 (15)	1	5	10	3	1		18 (14)	8	4					㈱トコム (会津若松市)、 ㈱オノデラ (喜多方市)
	③一般事務実務科 (組み合わせ訓練の座学)	9	2か月	4、6、8月	10		10 (9)	2	5	2	1			10 (9)							㈱トコム (会津若松市)、 ㈱オノデラ (喜多方市)
小計	48			62	0	57 (46)	9	19	25	4	4	1	53 (42)	17	12	0	0	0			
浜高等技術専門学校	情報ビジネス科	20	3か月	6月	29		24 (19)	5	10	9		1	1	23	20	11					うつくしまVST 相双支部 (南相馬市)
	一般事務科	10	2か月	9月	13		12 (10)	3	4	5				12 (10)	7	7					㈱アカデミー (いわき市)
	小計	30			42	0	36 (29)	8	14	14	0	1	1	35 (10)	27	18	0	0	0		
合計	118			130	0	116 (92)	27	41	44	4	6	3	110 (69)	46	30	0	0	0			

() 内は女性の内数

(2) 実習等訓練（組み合わせ訓練）

(単位：人)

平成20年3月末日現在

施設名	区分 訓練科目	当該年度定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	前年度繰越者数	入学者数	年齢別入学者				中退者数		修了者数	就職状況					委託先事業所または実施場所名	
								29歳以下	30～44歳	45～59歳	60歳以上	うち就職者	その他		雇用	うち関連	自営	うち関連	その他		
郡山高等技術専門学校	①情報システム科 (中級) (組み合わせ訓練の座学)	20	1か月	10、11月			10 (8)	4	4	2			10 (8)	2	2						富士通オフィス機器㈱(福島市)、 ㈱ミラクルネット(郡山市)
	②情報システム科 (デザイン) (組み合わせ訓練の座学)	10	1か月	11月			7 (4)	5	1	1			7 (4)	4	2						エヌケーテック㈱(郡山市)
	小計	30				0	0	17 (12)	9	5	3	0	0	17 (12)	6	4	0	0	0	0	
会津高等技術専門学校	③経理事務実務科 (組み合わせ訓練の座学)	9	2か月	8、10、12月			12 (9)	3	2	7			12 (9)	6	6						㈱トコム(会津若松市)、 ㈱みとみ(会津若松市)
	③一般事務実務科 (組み合わせ訓練の座学)	9	1か月	6、8、10月			10 (9)	2	5	2	1		10 (9)	7	6						㈱トコム(会津若松市)、 ㈱オノデラ(喜多方市)
	小計	18				0	0	22 (18)	5	7	9	1	0	22 (18)	13	12	0	0	0	0	
合計		48			0	0	39 (30)	14	12	12	1	0	39 (30)	19	16	0	0	0	0	0	

() 内は女性の内数

③ 普通職業訓練の短期課程（在職者訓練）

在職者を対象にキャリア形成に必要な技能・知識を習得するための訓練を実施する。

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員	訓練時間	年間開催回数	施設内外
郡山高等技術専門学校	機械製図科	32	30時間	2	施設内訓練
	機械加工科	48	60時間	4	施設内訓練
	電気工事科	80	60時間	4	施設内訓練
	建築塗装科	45	24時間	2	施設内訓練
	溶接科	20	12時間	1	施設内訓練
	システム設計科	30	36時間	2	施設内訓練
	ビジネスマネジメント科	15	12時間	1	施設内・外訓練
	小計	270	234時間	16	
会津高等技術専門学校	電気工事科	48	78時間	4	施設内訓練
	建築設計科	10	12時間	1	施設内訓練
	電子機器科	10	12時間	1	施設内訓練
	ホテル旅館レストラン科	45	40時間	3	施設内訓練
	O A 事務科	38	36時間	3	施設内訓練
	小計	151	178時間	12	
浜高等技術専門学校	電気工事科	45	67時間	3	施設内訓練
	建築設計科	45	36時間	3	施設内訓練
	O A 事務科	90	96時間	6	施設内訓練
	工場管理科	10	12時間	1	施設内訓練
	経営事務科	10	24時間	1	施設内訓練
	小計	200	235時間	14	
合 計		621	647時間	42	

【平成19年度実績】

施設名	訓練科名	コース数	実施回数	訓練時間	受講者数	備考
郡山高等技術専門学校	システム設計科	2	2	36	19	
	機械製図科	3	3	54	15	
	機械加工科	2	2	36	16	
	電気工事科	4	4	60	50	
	建築塗装科	3	3	36	48	
	溶接科	1	1	12	13	
	配管科	1	1	12	6	
	ビジネスマネジメント科	2	2	24	23	
	小計	18	18	270	190	
会津高等技術専門学校	電気工事科	2	2	42	31	
	電気機器科	1	1	12	11	
	建築設計科	1	1	12	11	
	配管科	1	1	12	2	
	ホテル旅館レストラン科	2	2	32	32	
	O A 事務科	5	5	66	44	
	小計	12	12	176	131	
浜高等技術専門学校	自動車整備科	2	2	24	11	
	電気工事科	2	2	48	17	
	建築設計科	4	4	48	60	
	O A 事務科	8	8	156	107	
	小計	16	16	276	195	
合計		46	46	722	516	

(2) 独立行政法人雇用・能力開発機構立職業能力開発促進センター

① 普通職業訓練の短期課程（施設内訓練）

離転職者を対象に職業に必要な技能・知識を習得するための訓練を実施する。

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員	訓練期間	年間開始月	施設内外
雇用・能力開発機構福島センター (福島職業能力開発促進センター)	テクニカルマネジメント科	60	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	テクニカル・メタルワーク科	76	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	電気・通信施工技術科	76	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	住宅リフォーム技術科	78	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	ビジネスワーク科	60	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	マネジメント情報システム科	40	6か月	4、10月	施設内訓練
	生産システム科制御コース	20	6か月	8、2月	施設内訓練
	オフィスワーク・経理科 (総務コース)	60	4か月	4、8、12月	施設内訓練
	オフィスワーク・営業科	60	4か月	4、8、12月	施設内訓練
	機械加工技術科	15	6か月	9月	日本版デュアル訓練
生産システム科制御コース	25	6か月	8、2月	日本版デュアル訓練	
小計		570			
いわき職業能力開発促進センター	テクニカルオペレーション科	63	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	金属加工科	66	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	電気設備科	66	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	ビジネスワーク科	60	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	住宅サービス科	72	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	溶接施工科（短期デュアル）	30	6か月	6、12月	施設内訓練
小計		357			
会津職業能力開発促進センター	ビジネスワーク科	60	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	住宅リフォーム技術科	60	6か月	4、7、10、1月	施設内訓練
	テクニカルオペレーション科	60	6か月	5、11、2月	施設内訓練
	情報システムサービス科	40	6か月	5、10月	施設内訓練
	機械加工技術科【若年者訓練】	18	6か月	8月	施設内訓練
小計		238			
合計		1,165			

【平成19年度実績】

(単位：人)

普通職業訓練の短期課程（施設内訓練）

平成20年3月末日現在

施設名	区分 訓練科目	当該年度定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	前年度繰越者数	入学者数	年齢別入学者				中退者数		修了者数	就職状況					次年度繰越者数	
								29歳以下	30～44歳	45～59歳	60歳以上	うち就職者	うち未就職者		雇用	うち関連	自営	うち関連	その他		
（福島・職業能力開発促進センター）	テクニカルマネジメント科	60	6か月	4,7,10,1月	92	16	58 (14)	18	35	5		6	4	53 (11)	48	41					15
	テクニカル・メタルワーク科	60	6か月	4,7,10,1月	50	13	41 (4)	15	11	14	1	3	1	43 (8)	33	27	3				8
	電気・通信施工技術科	60	6か月	4,7,10,1月	65	15	58 (2)	15	22	19	2	17	15	47 (1)	32	20	12	3			9
	住宅リフォーム技術科	60	6か月	4,7,10,1月	57	14	56 (23)	11	16	21	8	2	1	55 (21)	24	14	13	10			13
	ビジネスワーク科	60	6か月	4,7,10,1月	186	18	72 (67)	33	38	1		6	3	66 (56)	59	54	1	1			18
	マネジメント情報システム科	40	6か月	4,10月	38		34 (13)	14	17	3		2	1	32 (11)	14	9	1				
	福祉マネジメント科	20	6か月	7,1月	16	5	14 (11)	1	1	12		1		18 (15)	17	14	1				
	機械加工技術科	15	6か月	9月	15		14 (2)	9	5			1	1	13 (1)	11	10					
	電気設備メンテナンス科	30	4か月	4,8月	27		24 (4)	8	9	6	1	3	3	21 (4)	19	12					
	オフィスワーク・経理科	120	4か月	4,8,12月	154		117 (99)	44	44	27	2	10	7	107 (91)	70	47					
	オフィスワーク・営業科	60	4か月	4,8,12月	58		51 (24)	12	15	16	8	1	1	50 (24)	35	25					
	生産システム科（現在訓練中）	15	6か月	2月	10		9	1	8			1									8
小計	600				768	81	548 (263)	181	221	123	23	53	37	505 (243)	362	279	30	16	0	71	
いわき職業能力開発促進センター	テクニカルオペレーション科	60	6か月	4,7,10,1月1部	74	15	57 (25)	17	31	8	1	21	19	40 (14)	28	17	1				11
	金属加工科	60	6か月	4,7,10,1月1部	52	9	46 (4)	14	21	9	2	11	9	37 (3)	35	31	1				7
	電気設備科	60	6か月	4,7,10,1月1部	50	15	48 (4)	10	20	13	5	13	11	41 (2)	25	14					9
	ビジネスワーク科	60	6か月	4,7,10,1月1部	106	13	60 (59)	28	29	3		12	10	48 (47)	35	33	1				13
	住宅サービス科	60	6か月	4,7,10,1月1部	69	17	58 (25)	15	19	16	8	13	10	47 (22)	43	26	3	2			15
	金属加工科（若年者訓練）	30	6か月	6,12月1部	18		14 (1)	13	1			2		7	7	7					5
	ビジネスアプリケーション科	80	3か月	5,8,11,2月1部	172	20	79 (61)	25	36	17	1	6	4	75 (63)	52	42					18
小計	410				541	89	362 (179)	122	157	66	17	78	63	295 (151)	225	170	6	2	0	78	
会津職業能力開発促進センター	ビジネスワーク科	60	6か月	4,7,10,1月	110	18	64 (58)	27	34	3		7	6	59 (52)	50	48				9	16
	住宅リフォーム技術科	50	6か月	4,7,10,1月	55	14	51 (18)	4	14	30	3	4	3	51 (19)	35	7	1	1	15	10	
	テクニカルオペレーション科	40	6か月	5,8,11,2月	41	17	35 (8)	5	20	10		5	4	33 (10)	31	19			2	14	
	情報システムサービス科	40	6か月	5,11月	64	18	40 (19)	11	22	7		5	3	35 (22)	28	19	1	1	6	18	
	住宅リフォーム技術科（若年者訓練）	10	6か月	7,1月	8		8 (7)	4	4			1	1	4 (3)	3		1	1		3	
	テクニカルオペレーション科（若年者訓練）	20	6か月	8,2月	20		20 (6)	15	5			3	2	8 (2)	8	3					9
	小計	220				298	67	218 (116)	66	99	50	3	25	19	190 (108)	155	96	3	3	32	70
合計	1,230				1,607	237	1,128 (558)	369	477	239	43	156	119	990 (502)	742	545	39	21	32	219	

() 内は女性の内数

② 普通職業訓練の短期課程（就職支援能力開発訓練）

45歳以上65歳未満の求職者を対象に職業に必要な技能・知識を習得するための訓練を事業主団体等に委託して実施する。

【平成19年度実績】

（単位：人）

普通職業訓練の短期課程（就職支援能力開発訓練）

平成20年3月末日現在

施設名	区分 訓練科目	当該年度定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	前年度繰越者数	入学者数	年齢別入学者				中退者数	うち就職者	修了者数	就職状況				委託先事業所または実施場所名
								29歳以下	30～44歳	45～59歳	60歳以上				雇用	うち関連	自営	うち関連	
雇用・能力開発機構 （福島職業能力開発促進センター）	営業企画実務科	1	3か月	7月	2		1	1					1	1					ビッグマウスパソコン教室
	建設現場作業管理科	1	3か月	9月	1		1		1		1								㈲ケンシン
	自動車整備科	2	3か月	11月	1		1	1					1	1	1				㈲佐々木自動車
	パソコンインストラクター養成科	2	3か月	12月	3		2 (2)	1	1				2 (2)	1	1				郡山マルチ校
	介護福祉センター	1	3か月	3月	1		1 (1)		1		1								医療法人社団養高会高野病院
	小計	7				8	0	6 (3)	3	2	1	0	2	0	4 (2)	3	2	0	0
いわき職業能力開発促進センター	園芸科	15	3か月	5、9、11月	3		3 (2)	1			2	1	2		1	1			㈲磐植
	小計	15			3	0	3 (2)	1			2	1	0	2 (0)	1	1	0	0	0
合計		22			11	0	9 (5)	4	2	1	2	3	0	6 (2)	4	3	0	0	0

（ ）内は女性の内数

③ 普通職業訓練の短期課程（知識習得等訓練）

雇用情勢の厳しい状況の中、離転職者を対象に必要な技能・知識を習得するための訓練を教育訓練機関等に委託して実施する。

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員	訓練期間	訓練開始月	施設内外
雇用・能力開発 機構福島センター (福島職業能力 開発促進センター)	O A スキルアップ科	10	3か月	7月	施設外訓練
	I T ビジネス科	30	3か月	5、6、9月	施設外訓練
	I T キャリアパソコン科	10	3か月	8月	施設外訓練
	C A D システム科	10	3か月	6、9月	施設外訓練
	企画営業科	10	3か月	7月	施設外訓練
	営業販売科	10	3か月	9月	施設外訓練
	経理事務科	40	3か月	6、8、11月	施設外訓練
	ビジネスパソコン基礎科	230	3か月	4、5、6、7、8、9、10、 11、12、1、2、3月	施設外訓練
	ビジネスパソコン中級科	50	3か月	4、7、10、2月	施設外訓練
	知識実践習得コース（仮称）	80	4か月	8、9、10、12、1、 2月	施設外訓練
小計	480				
いわき職業能力開発 促進センター	O A サービス科	100	3か月	5、7、10、1、3月	施設外訓練
	ビジネスパソコン基礎科	100	3か月	4、6、9、12、2月	施設外訓練
	実務会計科	30	3か月	8、11月	施設外訓練
	園芸科	15	3か月	5、9、12月	施設外訓練
	小計	245			
合計	725				

【平成19年度実績】

普通職業訓練の短期課程（緊急再就職訓練）

（単位：人）

(1) I T訓練

平成20年3月末日現在

施設名	区分 訓練科目	当該年度定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	前年度繰越者数	入学者数	年齢別入学者				中退者数		修了者数	就職状況					委託先場所または 実施事業所名
								29歳以下	30～44歳	45～59歳	60歳以上	うち就職者数	うち就業者数		雇用	うち関連	自営	うち関連	その他	
雇用・能力開発機構福島センター（福島職業能力開発促進センター）	ビジネスパソコン基礎科	495	3か月	4～2月	719	67	482(404)	111	199	160	12	22	11	460(387)	215	198	1	1	143	施設外
	ビジネスパソコン中級科	145	3か月	4、5、6、8、9、11月	216		143(110)	38	62	38	5			143(110)	66	64			62	施設外
	CADシステム科	20	3か月	6、9月	35		20(13)	2	11	7				20(13)	9	8			11	施設外
	Webデザイン科	10	3か月	11月	15		10(7)		10					10(7)	5	1			5	施設外
	DTP-Webデザイン科	10	3か月	12月	24		10(8)	9	1					10(8)	5	3			5	施設外
	ビジネスパソコン会計基礎科（再チャレンジ）	15	3か月	12月	8		7(6)	5	2					7(6)						施設外
	Web/DTPクリエーター科（再チャレンジ）	15	3か月	1月	8		8(5)	5	3			1		7(4)						施設外
	ビジネスパソコンマスター科（再チャレンジ）	15	3か月	1月	9		9(9)	5	4			1		8(8)						施設外
	ITビジネス科（再チャレンジ）	10	3か月	2月	4		4(2)	4						4(2)						施設外
	ITビジネスコミュニケーション科（再チャレンジ）	10	3か月	2月	9		9(6)	6	3					9(6)						施設外
小計	ビジネスパソコン実務科（組み合わせ）	30	4か月	4、5、7、8、12月	43	24	28(20)	1	15	12		2	1	26(19)	13	12			5	施設外
	ビジネスパソコン実務科（若年デュアル）	250	4～5か月	4～12、2月	211		190(162)	139	51			13	6	174(148)	96	95			34	施設外
	小計	1,025			1,301	91	920(752)	325	361	217	17	39	18	878(718)	409	381	1	1	265	
開い 発 わ き 進 進 セ ン タ ー 能 力	OAサービス科	120	3か月	5、6、9、11、12、3月	157		105	19	56	27	3	7	6	78(72)	52	50	1	1		FDKライフテック(株)、(株)協和マイク
	ビジネスパソコン実務科（若年者）	90	4～5か月	4、6、8、9、12、2月	64		59	46	13			13	9	35(33)	33	33				FDKライフテック(株)、(株)協和マイク
	小計	210			221	0	164(0)	65	69	27	3	20	15	113(105)	85	83	1	1	0	
発 津 促 進 セ ン タ ー 能 力 開	ビジネスパソコン実務科（若年者）	70	4か月	4、5、6、7、9、12、2月	91		71(65)	56	15			10	5	61(56)	46	37			16	会津若松卸商団地協同組合 ネクセスゲート
	パソコン活用営業実務科（再チャレンジ）	10	3か月	1月	15		13(9)	5	8			1	1	12(8)	3	3			9	トコム
	小計	80			106	0	84(74)	61	23	0	0	11	6	73(64)	49	40	0	0	25	
合計		1,315			1,628	91	1,168(826)	451	453	244	20	70	39	1,064(887)	543	504	2	2	290	

※若年者職業訓練を含む。
（ ）内は女性の内数

(2) 就職促進訓練（緊急再就職訓練）

（単位：人）

平成20年3月末日現在

施設名	区分 訓練科目	当該年度定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	前年度線越者数	入学者数		年齢別入学者				中退者数		修了者数	就職状況				委託先事業所または実施場所名		
							29歳以下	30～44歳	45～59歳	60歳以上	うち就職者	雇用	うち関連	自営		うち関連	その他					
雇用・能力開発機構福島センター （福島職業能力開発促進センター）	経理事務科	25	3か月	6月	45		25	(19)	7	13	5				25	(19)	13	10			12	施設外
	医療事務科	25	3か月	7、2月	28		23	(23)	6	14	3				10	10	2	2			8	施設外
	営業・販売科 （再チャレンジ）	10	3か月	9月	6		6	(3)	4	2			1		5	(3)	4	4			1	施設外
	医療事務実務科 （若年デュアル）	40	4～5か月	7、10月	38	9	34	(34)	25	9			5	1	29	(29)	18	12			11	施設外
	小計	100			117	9	88	(79)	42	38	8	0	6	1	69	(61)	37	28	0	0	32	
いわき職業能力開発促進センター	実務会計科	15	3か月	11月	12		11		8	3					11	(10)	10	9				(有)アカデミー
	小計	15			12	0	11	0	8	3	0	0	0	0	11	(10)	10	9	0	0	0	
合計		115			129	9	99	(79)	50	41	8	0	6	1	80	(71)	47	37	0	0	32	
緊急再就職訓練合計		1,430			1,757	100	1,267	(905)	501	494	252	20	76	40	1,144	(958)	590	541	2	2	322	

（ ）内は女性の内数

④ 普通職業訓練の短期課程（若年者職業訓練（委託訓練活用型））

平成19年度に卒業した未就職卒業者、学卒早期離職者及び不安定就労若年者を対象に、就職するために必要な技能・知識を習得するために訓練を実施する。

【平成20年度計画】

若年者職業訓練

施設名	訓練科	年間延べ定員	訓練期間	訓練開始月	施設内外
雇用・能力開発機構 福島センター (福島職業能力開発 促進センター)	ビジネスパソコン実務科	295	4か月	4～3月	施設外訓練
	ビジネスパソコン中級実務科	30	4か月	4、7、10、2月	施設外訓練
	DTP－Webデザイン実務科	20	4か月	5、12月	施設外訓練
	CADシステム実務科	20	4か月	6、9月	施設外訓練
	医療事務実務科	40	4か月	7、9、10、1月	施設外訓練
小計		405			
いわき職業能力開発 促進センター	ビジネスパソコン実務科	30	4か月	5、8月	施設外訓練
小計		30			
会津職業能力開発 促進センター	ビジネスパソコン実務科	70	4か月	4、5、6、7、8、9、 12月	施設外訓練
	パソコン活用営業実務科 (再チャレンジ)	20	3か月	6、9月	施設外訓練
小計		90			
合計		525			

⑤ 高度職業訓練の専門短期課程（在職者訓練）

在職者を対象にキャリア形成に必要な技能・知識を習得するための高度な訓練を実施する。

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員(人)	合計訓練時間	年間開催回数	施設内外
雇用・能力開発機構福島センター (福島職業能力開発促進センター)	生産技術科	258	696時間	32	施設内訓練
	電気技術科	305	543時間	35	施設内訓練
	住居環境科	96	186時間	10	施設内訓練
小計		659	1,425時間	77	
いわき職業能力開発促進センター	生産技術科	60	144時間	6	施設内訓練
	電気技術科	40	78時間	4	施設内訓練
小計		100	222時間	10	
合計		759			

高度職業訓練（専門短期課程）

【平成19年度実績】

施設名	訓練科名	コース数	実施回数(回)	訓練時間(時間)	受講者数(人)	備考
雇用能力開発機構福島センター (福島職業能力開発促進センター)	生産技術科	14	26	594	204	
	電気技術科	11	17	282	69	
	情報技術科	1	3	36	15	
	住居環境科	5	6	126	39	
	小計		31	52		327
雇用能力開発機構いわきセンター	生産技術科	1	8	192	40	
	電気技術科	3	3	60	32	
	小計		4	11		72
合計		35	63		399	

⑥ 若年者職業訓練事業（デュアルシステムの導入による若年者就職支援）

卒業後本格的雇用に至らない学卒者等若年者（フリーター、無業者を含む）への就職支援策として、次の訓練をモデル的に実施する。

ア 委託訓練活用型

民間教育訓練施設での教育訓練と企業実習を組み合わせた訓練（委託訓練活用型デュアルシステム）

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員	訓練期間	訓練開始月	施設内外
会津高等技術専門校	ビジネス基礎実務科	10	4か月	11月	施設外委託訓練
浜高等技術専門校	情報ビジネス実務科	9	4か月	6月、9月	施設外委託訓練
合 計		19			

【平成19年度実績】

施設名	訓練科目	定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	入学者数	中退者数	うち就職者	修了者数	次年度繰越者	就職者数	備考
会津高等技術専門校	ビジネス基礎実務科	10	4か月	10月	14	12	1		11		9	
		10	4か月	11月	8	7	1		6		5	
合 計		20			22	19	2	0	17	0	14	

イ 普通課程活用型

高等技術専門校での教育訓練と企業実習を組み合わせた訓練（デュアルシステム）

【平成19年度実績】

施設名	訓練科目	定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	入学者数	中退者数	うち就職者	修了者数	次年度繰越者	就職者数	備考
浜高等技術専門校	自動車整備科 (3級自動車整備士養成コース)	10	1年	H18.10月	6	4	1	1	3		3	

⑦ 母子家庭の母等の職業的自立促進事業

就労経験がないか又は就労経験に乏しい母子家庭の母等に就職に必要な知識・技能の習得を図るため、職業訓練を委託し実施する。

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員	訓練期間	訓練開始月	備考
郡山高等技術専門校	パソコントレーニング科	6	3か月	6、7、8、9月	
小	計	6			
会津高等技術専門校	経理事務科	6	3か月	4、6、8月	
	一般事務科	3	2か月	5、7、9月	
小	計	9			
浜高等技術専門校	情報ビジネス科	6	3か月	6、9月	
小	計	6			
合	計	21			

【平成19年度実績】

(平成20年6月末日現在)

施設名	訓練科目	定員	訓練期間	訓練開始月	応募者数	入学者数	中退者数	うち就職者数	修了者数	就職者数	備考
郡山高等技術専門校	情報システム科（中級）	2	3か月	7月	1	1			1	1	富士通オフィス機器(株)
		1	3か月	10月	1	1			1	1	(有)ミラクルネット
	情報システム科（デザイン）	1	3か月	8月							エヌケーテック(株)
	情報システム科（初級）	1	3か月	9月							(有)ばすワード
	情報システム科（初級）	1	3か月	6月							(株)エフコム白河事業所（中止）
小	計	6			2	2	0	0	2	2	
会津高等技術専門校	経理事務科	1	3か月	5月	1	1			1	1	みとみ学園（株）みとみ
		1	3か月	7月							トコムOAスクール（株）トコム
	一般事務科	2	3か月	9月	2	2			1	1	
		2	2か月	6月	1	1			1	1	パソコントレーニングセンター喜多方校駅前店（株）オノデラ
小	計	8			4	2	0	0	2	2	
浜高等技術専門校	情報ビジネス科	2	3か月	6月	1	1			1	1	うつくしまVST相双支部
		2	3か月	6月	2	2			2	2	
	介護サービス科	0									（中止）
一般事務科	2	2か月	9月	3	3			3	2	(有)アカデミー	
小	計	6			6	6	0	0	6	4	
合	計	20			12	12	0	0	11	9	

⑧ 障がい者委託訓練事業（多様な委託先活用による障がい者雇用促進）

障がい者の雇用促進に資するため、企業、社会福祉法人、NPO、民間教育訓練機関等地域の多様な委託先を活用し、障がい者の能力、適性及び地域の障がい者雇用ニーズに対応した委託訓練を実施する。

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員	訓練期間	訓練開始月	備考
郡山高等技術専門学校	パソコン事務科	20	3か月	7、8月	
	ワークアシスト科	10	3か月	12月	
	事業主委託訓練	6	3か月	随時	
小計		36			
会津高等技術専門学校	経理事務科	3	3か月	4、6、8月	
	一般事務科	3	2か月	5、7、9月	
	事業主委託訓練	2	3か月	随時	
小計		8			
浜高等技術専門学校	パン製造・販売科	9	1か月	5月	
	パソコン事務科	10	3か月	12月	
	事業主委託訓練	2	3か月	随時	
小計		21			
合計		65			

【平成19年度実績】

(平成20年6月末日現在)

施設名	訓練科目	定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	入学者数	中途退学者数	うち就職者	修了者数	就職者数	備考
郡山高等技術専門学校	パソコン実務科	10	3か月	9月	11	9			9		
	パソコン実務科	10	3か月	10月	18	14			14	4	
小計		20			29	23	0	0	23	4	
会津高等技術専門学校	一般事務科	2	2か月	4月	2	2			2	2	
	一般事務科	2	2か月	6月	2	2			2	1	
	一般事務科	1	2か月	8月	1	1			1		
小計		5			5	5	0	0	5	3	
浜高等技術専門学校	パソコン実務科	10	3か月	1月	11	10	3		7	2	
小計		10			11	10	3	0	7	2	
合計		35			45	38	3	0	35	9	

⑨ 障がい者職業能力開発事業

郡山高等技術専門校を障がい者職業能力開発事業の地域拠点として位置づけるとともに、知的障がい者に対する職業訓練を行う。

【平成20年度計画】

施設名	訓練科	年間延べ定員	訓練期間	訓練開始月	施設内外
郡山高等技術専門校	事務実務科	10	6か月	5月	施設外訓練

【平成19年度実績】

(平成20年4月末日現在)

施設名	訓練科目	定員	訓練期間	訓練開始年月	応募者数	入学者数	中退者数	うち就職者	修了者数	就職者数	備考
郡山高等技術専門校	事務実務科	10	3か月	12月	10	10			10	1	

3 認定職業訓練実施状況の推移／認定職業訓練施設一覧

(1) 認定職業訓練実施状況

年度	実施校数	訓練生数		年度	実施校数	訓練生数	
		普通課程	短期課程			普通課程	短期課程
62	19	373	1,121	10	19	534	2,156
63	18	400	1,073	11	22	556	1,755
元	18	335	1,049	12	20	528	1,434
2	20	334	1,052	13	19	447	963
3	19	411	1,060	14	19	394	747
4	19	533	1,106	15	21	366	745
5	21	619	1,069	16	21	384	707
6	20	637	1,107	17	21	366	776
7	20	680	1,171	18	22	268	735
8	20	669	1,300	19	21	190	729
9	19	538	1,632	20	19	160	439

(訓練生数は訓練開始時)

(2) 認定職業訓練施設一覧

① 共同認定職業訓練施設

認定訓練校 (法人設立年月日)	代表者氏名	主たる事業所の所在地 及び電話番号	構成事業主数	訓練開始 年月日	認定 年月日
福島共同高等職業訓練校 〔職業訓練法人 福島職業訓練技能協会 (49. 4.28)〕	会長 小林 勝利 校長 矢内 清助	〒960-0103 福島市本内字南街道下 35-1 (024) 553-3077	104	S 30.10. 1	S 33. 7. 1
福島県技能士会連合会	会長 沼 昇一	〒960-8043 福島市中町 8 番 2 号 (024) 523-1755	1,281	S 55. 4. 1	S 55. 4.15
郡山高等職業能力開発校 〔職業訓練法人 郡山職業訓練協会 (48. 4.20)〕	会長 瀬谷 善寿 校長 大橋 弘信	〒963-8017 郡山市長者 3 - 2 - 19 (024) 932-5281	55	S 33. 4. 2	S 34. 4. 2

訓練課程	専攻科目	訓練期間	訓練生数				訓練施設	備考
			1年	2年	3年	計		
普通課程	木造建築科	3年	4	1	1	6	鉄骨造2階建 教室(3) 118.8㎡ 実習場(4) 501.12㎡ 福島市所有 継続的借用	労働大臣表彰 (建築) S40.11.9 S49.11.1
	左官・タイル施工科	〃	2	0	1	3		
	建築塗装科	〃	2	6	2	10		
	建築板金科	〃	3	0	1	4		
	畳科	〃	3	0	0	3		
	計		14	7	5	26		
短期課程	建築科	40H				5		
	左官科	16H				0		
	塗装科	24H				15		
	板金科	112H				7		
	畳科	24H				7		
	計					34		
短期課程	畳科	14H				10	福島県ものづくり支援センター 多目的ホール(1) 549.78㎡ 研修室(1) 170.6㎡	
	建設科	16H				20		
	とび科	16H				0		
	ブロック建築科	16H				10		
	石材科	16H				15		
	屋根施工科	16H				30		
	表具科	16H				10		
	建築大工科	16H				0		
	木工科	16H				30		
	紳士服製造科	16H				10		
	紙器・ダンボール箱製造科	16H				0		
	左官・タイル科	16H				10		
	日本調理科	16H				10		
	建築配管科	16H				0		
	計					155		
普通課程	木造建築科	3年	3	3	5	11	鉄筋コンクリート造 2階建 教室(6) 883.27㎡ 実習場(4) 266.9㎡ 郡山市所有 継続的借用	労働大臣表彰 (建築)S38.10.28 (板金)S43.11.25 (鉄工)S45.11.1 (左官)S47.11.1 S53.11.1
	建築板金科	〃	7	2	5	14		
	左官・タイル施工科	〃	6	4	3	13		
	建築塗装科	〃	0	2	6	8		
	計		16	11	19	46		

認定訓練校 (法人設立年月日)	代表者氏名	主たる事業所の所在地 及び電話番号	構成事業主数	訓練開始 年月日	認定 年月日
郡山商工会議所ビジネス スクール (郡山商工会議所)	学校長 丹治 一郎	〒963-8005 郡山市清水台1-3-8 (024) 932-5000	4,486	S56. 4. 1	元. 3.17
郡山美容職業訓練校 〔職業訓練法人 郡山美容職業訓練協会 (56.10.30)〕	理事長 國津慶太郎 校長 後藤 幸夫	〒963-8873 郡山市愛宕町6-27 (024) 932-1612	201	S54. 4. 1	S57. 3.18
郡山理容職業能力開発校 〔職業訓練法人 郡山理容職業訓練協会 (11. 4. 5)〕	理事長 田中 三郎 校長 近野 裕	〒963-8071 郡山市富久山町久保田字 水神山45 (024) 923-0065	122	S59. 4. 1	S59. 7.19
田村建築共同高等職業訓練校 〔職業訓練法人 田村地区職業訓練協会 (47. 4.18)〕	会長 吉田 來 校長 山野辺耕一	〒963-4312 田村市船引町船引字南町 通151-2 (0247) 82-1279	60	S33. 4. 1	S34. 4. 2
県南地区共同高等職業訓練校 〔職業訓練法人 県南地区職業訓練協会 (51. 6.14)〕	会長 斎藤 健治 校長 稲田 和夫	〒969-0401 岩瀬郡鏡石町岡ノ内76 (0248) 62-3740	43	S48. 4. 1	S48. 4. 4
白河地域高等職業訓練校 〔職業訓練法人 白河地域職業訓練協会 (60. 3.26)〕	会長 永山 龍雄 校長 永山 龍雄	〒961-0053 白河市字中田140 (0248) 22-3512	41	S58. 4. 1	S58. 3.16
東白地区建築共同高等 職業訓練校	校長 下重 勇喜	〒963-5341 東白川郡塙町大字台宿字 北原142	12	S53. 4. 1	S53. 4. 1

訓練課程	専攻科目	訓練期間	訓練生数				訓練施設	備考
			1年	2年	3年	計		
短期課程	経理事務科(3級簿記)	62H				14	鉄骨コンクリート造 3階建 教室(4) 224㎡ 実習場(1) 92㎡ 独立行政法人雇用・ 能力開発機構委託 郡山地域職業訓練 センター 継続の借用	
	経理事務科(2級簿記)	82H				6		
	情報処理科(パソコン初級)	42H				14		
	情報処理科(初級シスアド)	42H				0		
	情報処理科(ホームページ)	26H				5		
	情報処理科(パソコン入門)	16H				5		
	情報処理科(CAD)	52.5H				0		
	一般事務科(ビジネス英会話)	30H				0		
	一般事務科(韓国語)	30H				0		
	販売科(3級販売士)	26H				7		
	販売科(2級販売士)	30H				5		
	色彩科(カラーコーディネーター)	26H				5		
	法務科(ビジネス実務法務2級)	16H				5		
	法務科(社会法務)	70H				0		
	法務科(建築法務)	74H				15		
	電気科(電気主任技術者)	62.5H				0		
	燃料科(危険物取扱者)	26H				0		
	住居環境科(福祉住環境3級)	16H				0		
	住居環境科(福祉住環境2級)	24H				0		
	計				81			
普通課程	美容科	2年	0	2	-	2	鉄筋コンクリート造 4階建 教室(2) 132㎡ 実習場(2) 240㎡ 社団法人郡山美容協会所有 継続の借用	
普通課程	理容科	2年	0	4	-	4	鉄骨造 2階建 教室(1) 54.76㎡ 実習場(1) 54.76㎡ 社団法人郡山理容協会所有 継続の借用	
普通課程	木造建築科	3年	0	1	2	3	鉄骨造 2階建 教室(3) 139㎡ 実習場(3) 99㎡	労働大臣表彰 S42.11.16
普通課程	木造建築科	3年	1	3	3	7	鉄骨造 平家建 教室(4) 165.62㎡ 実習場(2) 255.05㎡	労働大臣表彰 S56.11.5
	左官・タイル施工科	〃	3	3	0	6		
	計		4	6	3	13		
短期課程	左官科	16H				12		
普通課程	縫製科	1年	5	-	-	5	鉄筋コンクリート造 2階建 教室(3) 204㎡ 実習場(1) 102㎡ 独立行政法人雇用・ 能力開発機構委託 白河地域職業訓練 センター 継続の借用	
短期課程	縫製科	45H				0		
普通課程	木造建築科	3年	-	-	-	0	木造 平家建 教室(2) 79.2㎡ 実習場(1) 39.6㎡	休校 H5.4.1~
短期課程	建築科	56H				0	塙町所有 継続の借用	

認定訓練校 (法人設立年月日)	代表者氏名	主たる事業所の所在地 及び電話番号	構成事業主数	訓練開始 年月日	認定 年月日
会津共同高等職業訓練校 〔職業訓練法人 会津職業訓練協会 (47. 3.13)〕	会長 鈴木長九郎 校長 山岸 清	〒965-0858 会津若松市神指町大字 南四合幕内西351 (0242) 27-1800	278	S 39. 4. 1	S 39.12.22
会津漆器技術後継者訓練校 〔会津漆器協同組合〕	校長 鈴木 勝健 (理事長)	〒965-0042 会津若松市大町一丁目7-3 (0242) 24-5757	188	H15. 4. 1	H15. 3.24
会津喜多方建築高等 職業訓練校	校長 花見 一	〒966-0031 喜多方市字舞台田3119-1 (0241) 22-1148	24	S 45. 4. 1	S 45.11. 1
原町建築高等職業訓練校 〔職業訓練法人 原町建築職業訓練協会 (46. 6.18)〕	会長理事 猪苧 律	〒975-0041 南相馬市原町区下太田字 小原29-9 (0244) 23-4753	23	S 37. 1. 9	S 37. 5.31
いわき共同高等職業訓練校 〔職業訓練法人 いわき職業訓練協会 (46.11.26)〕	会長 松本 庸一 校長 猪狩 篤一	〒970-8036 いわき市平谷川瀬1-1-6 (0246) 25-7731	53	S 35. 7. 1	S 39.12.20
いわき理容美容職業訓練校 〔職業訓練法人 いわき理容美容職業訓練協会 (52. 4.20)〕	理事長 村上清十郎 校長 志賀 洪司	〒970-8036 いわき市平谷川瀬字 明治町96- 1 (0246) 25-4294	80	S 51. 4. 1	S 50.11.13
いわきコンピュータ・カレッジ 〔職業訓練法人 いわき情報処理開発財団 (2. 8.29)〕	理事長 櫛田 一男 校長 大谷 明	〒971-8185 いわき市泉町 4 -13-12 (0246) 56-0711	58	H 3. 4.12	H 3. 4. 6
福島県清酒アカデミー 職業能力開発校 〔福島県酒造組合連合会〕	校長 唐橋幸市郎 (会長)	〒960-8044 福島市早稲町 4 -24 (024) 522-3171	71	H 5. 4.12	H 5. 4. 6

訓練課程	専攻科目	訓練期間	訓練生数				訓練施設	備考
			1年	2年	3年	計		
普通課程	木造建築科	3年	2	3	3	8	木造 平家建 教室(5) 264㎡ 実習場(1) 188㎡ 会津若松市所有 継続的借用	労働大臣表彰 S46.11. 1 S54.11. 1
短期課程	建築科(技能検定建築大工)	24H				15		
	建築科(入母田)	16H				5		
	建築製図科2級建築士 受験講座	80H				5		
	計					25		
普通課程	漆器科	2年	5	5	—	10	県ハイテクプラザ 借用	
普通課程	木造建築科	3年	0	0	0	0	木造 平家建 教室(2) 79.2㎡ 実習場(1) 105.6㎡	労働大臣表彰 S51.11. 4 休校 H20. 4. 1~
短期課程	建築科	28H				5	木造 平家建 会議室(2) 100㎡	労働大臣表彰 S48. 1. 1
普通課程	木造建築科	3年	7	5	3	15	鉄骨造 2階建 教室(5) 200㎡ 実習場(1) 160㎡ いわき市所有 継続的借用	労働大臣表彰 S41.11.10
	左官・タイル施工科	〃	2	3	1	6		
	建築設計科	2年	3	4	—	7		
	計		12	12	4	28		
短期課程	木造建築科	16H				0		
	左官科	16H				0		
	タイル施工科	16H				10		
	板金科	28H				6		
	計					16		
普通課程	理容科	2年	0	1	—	1	鉄筋コンクリート造 4階建 教室(4) 278.24㎡ 実習場(2) 164.54㎡	労働大臣表彰 S57.11. 5
	美容科	〃	3	3	—	6		
	計		3	4	—	7		
短期課程	理容科	30H				10		
	美容科	30H				10		
	計					20		
普通課程	情報システム科	2年	0	0	—	0	鉄筋コンクリート造 2階建 教室(4) 360㎡ 実習室(5) 510㎡ 独立行政法人雇用・ 能力開発機構委託	
	情報ビジネス科	〃	0	0	—	0		
	計		0	0	—	0		
短期課程	醗酵製品製造科(初級)	104H				12	県ハイテクプラザ 借用	
	〃(中級)	104H				9		
	〃(上級)	104H				8		
	計					29		

認定訓練校 (法人設立年月日)	代表者氏名	主たる事業所の所在地 及び電話番号	構成事業主数	訓練開始 年月日	認定 年月日
福島県板金高等職業訓練校	校長 菊田 重男	〒963-0723 郡山市田村町桜ヶ丘2丁目5 (024) 955-5525	280	H10. 4.20	H10. 4.20
普通課程実施校 (11校)					
短期課程実施校 (9校)					
合計 (実) 16校			7,460		

② 単独認定職業訓練施設

認定訓練校 (法人設立年月日)	代表者氏名	主たる事業所の所在地 及び電話番号	事業の 種類	訓練開始 年月日	認定 年月日
会津建設職業能力開発校 〔会津建設(株)〕	校長 森 昭平 代表取締役 芳賀 一夫	〒960-8073 福島市南中央三丁目2 (024) 535-4440	建設業	元. 4. 4	元. 4. 4
内藤工業所高等職業訓練校 〔(株)内藤工業所〕	校長 内藤 清吾 (代表取締役)	〒963-0541 郡山市喜久田町堀之内字 地田東17-2 (024) 923-1830	金属製品 製造業	S48. 4. 2	S48. 4. 4
増子建築職業能力開発校 〔(株)増子建築工業〕	校長 増子 則雄 (代表取締役)	〒963-8061 郡山市富久山町福原字 東内打5-1 (024) 933-8322	建設業	H 5. 4. 1	H 5. 3.31
ジョイ美容職業訓練校 〔(有)ジョイ商事〕	校長 中島 正喜 (代表取締役)	〒963-0107 郡山市安積1丁目66 (024) 945-8194	美容業	H18. 8. 6	H18. 8. 3
水谷建設(株) 小高研修センター 〔水谷建設(株)〕	代表取締役 社長 川村 尚	〒979-2142 南相馬市小高区角部内字 雁北30 (0244) 44-6333	土木工事	H15. 4. 1	H15. 2.24
普通課程実施校 計 (1校)					
短期課程実施校 計 (1校)					
合計 (実) 2校					

総 合 計	普通課程実施校 (12校)				
	短期課程実施校 (10校)				
	計 (実) 18校				

※専攻科目については、平成20年度計画のもの及び過去3年以内に訓練実績のあるものである。
ただし、休校の施設については、認定訓練科目である。

訓練課程	専攻科目	訓練期間	訓練生数				訓練施設	備考
			1年	2年	3年	計		
短期課程	技能検定受験準備講習(1級実技)	12H				30	福島県ものづくり支援センター 借用	
	技能検定受験準備講習(2級実技)	12H				20		
	安全衛生責任者職長教育講習	12H				0		
	銅板加工技術講習	12H				0		
	施工士養成科	12H				0		
	施工検査士養成科	12H				0		
	計				50			
			61	55	36	152		
						427		
						579		

訓練課程	専攻科目	訓練期間	訓練生数				訓練施設	備考
			1年	2年	3年	計		
普通課程	木造建築科	3年	—	—	—	0	鉄骨 3階建 教室 60㎡ 実習場 215㎡	休校 H15. 4. 1～
	配管科	〃	—	—	—	0		
		計	—	—	—	0		
普通課程	塑性加工科	1年	—	—	—	0	鉄筋コンクリート造 教室 50㎡ 実習場 165㎡	休校 H12. 4. 1～
普通課程	木造建築科	3年	2	2	2	6	鉄骨 2階建 教室 85㎡ 実習場 85㎡	
	配管科	〃	1	1	0	2		
		計	3	3	2	8		
短期課程	美容科(美容ベーシック)	20H				6	鉄筋コンクリート造 教室 129㎡ 実習場 129㎡	
	美容科(美容アドバンス)	62.5H				6		
		計				12		
普通課程	建設機械運転科	1年	—	—	—	0	鉄筋コンクリート造 3階建 教室(5) 121.54㎡ 実習場(2) 7,671㎡	休校 H19. 4. 1～
短期課程	建設機械運転科	55H				0		
			3	3	2	8		
						12		
						20		

			64	58	38	160		
						439		
						599		

4 技能照査実施状況

公共職能力開発施設の長及び認定職業訓練を行う事業主等は、普通課程（一定の訓練時間以上のものに限る。）及び専門課程を受ける者に対して、その訓練において必要な技能及びこれに関する知識を修得したかどうかを判定するために、技能照査を行うこととされている。この技能照査に合格した者には合格証書が交付され、技能士補と称することができる。

なお、技能照査の合格者は、当該技能照査にかかる訓練科に相当する職種の2級技能検定の受験にあたって、学科試験の免除を受けることができる。

年度別実施状況（過去5年間）

年度	県立高等技術専門学校														
	郡山				会津				浜				計		
	修了者	受験者	合格者	合格率	修了者	受験者	合格者	合格率	修了者	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
人	人	人	%	人	人	人	%	人	人	人	%	人	人	%	
15	104	104	102	98.1	56	56	56	100.0	69	69	67	97.1	229	225	98.3
16	107	107	106	99.1	79	79	77	97.5	84	84	83	98.8	270	266	98.5
17	102	102	101	99.0	76	76	73	96.1	80	80	80	100.0	258	254	98.4
18	105	105	102	97.1	60	60	59	98.3	76	76	76	100.0	241	237	98.3
19	99	99	99	100.0	63	63	63	100.0	72	72	72	100.0	234	234	100.0

年度	認定職業訓練校								
	単独			共同			計		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
人	人	%	人	人	%	人	人	%	
15	5	5	100.0	113	104	92.0	125	116	92.8
16	13	13	100.0	114	105	92.1	127	118	92.9
17	14	14	100.0	140	120	85.7	154	134	87.0
18	10	10	100.0	101	91	90.1	111	101	91.0
19	0	0	0	125	115	92.0	125	115	92.0

5 職業訓練指導員免許交付状況／職業訓練指導員試験実施状況

(1) 職業訓練指導員免許

公共職業訓練及び認定職業訓練においては、原則として、知事の免許を受けた者でなければ職業訓練を担当することができないことになっており、その免許申請資格者は、①指導員訓練のうち長期課程または専門課程等を修了した者、②職業訓練指導員試験に合格した者、その他①又は②に掲げた者と同等以上の能力を有すると認められる者などである。

旧法（昭和33年度～昭和44年度）による職業訓練指導員免許交付者は計11,454名である。

新法による免許職種別職業訓練指導員免許交付状況

（昭和45年度～平成19年度）

職 種	交付者数	職 種	交付者数	職 種	交付者数
園芸科	5	和裁科	77	建設機械運転科	97
造園科	(3) 347	寝具科	165	化学分析科	7
森林環境保全科	3	帆布製品科	18	木材工芸科	9
鉄鋼科	2	木型科	1	漆器科	16
鑄造科	15	木工科	(3) 428	印章彫刻科	26
鍛造科	13	紙器科	21	塗装科	(2) 485
熱処理科	21	製版・印刷科	5	広告美術科	35
塑性加工科	(3) 549	プラスチック製品科	(1) 9	デザイン科	11
溶接科	103	石材科	183	義肢装具科	8
構造物鉄工科	(3) 135	パン・菓子科	37	電気通信科	2
金属表面処理科	2	食肉科	1	事務科	35
機械科	(8) 746	発酵科	1	流通ビジネス科	1
電子科	(1) 187	建築科	(2) 3,396	写真科	26
電気科	177	枠組壁建築科	3,164	理容科	457
コンピュータ制御科	(2) 15	とび科	68	美容科	516
発電科	9	建設科	127	ホテル・旅館・レストラン科	(2) 4
送配電科	53	プレハブ建築科	17	日本料理科	3
電気工事科	(1) 165	屋根科	(1) 86	中国料理科	1
自動車製造科	1	スレート科	9	西洋料理科	3
自動車整備科	(7) 1,124	防水科	38	フラワー装飾科	(2) 22
航空機製造科	1	サッシ・ガラス施工科	82	メカトロニクス科	35
鉄道車輛科	20	建築板金科	34	情報処理科	(2) 22
時計科	31	畳科	(1) 190	フォークリフト科	1
光学ガラス科	7	インテリア科	53	建築物衛生管理科	6
光学機器科	(2) 5	床仕上げ科	17	小計	(48) 15,864
計測機器科	1	表具科	46	〔電子管科〕	2
製材機械科	5	左官・タイル科	883	〔電線被装科〕	1
内燃機関科	10	ブロック建築科	126	〔蓄電池科〕	1
建設機械科	94	熱絶縁科	(1) 12	〔乾電池科〕	1
農業機械科	239	冷凍空調機器科	34	〔合板科〕	1
縫製機械科	2	配管科	(1) 190	〔化学反応科〕	4
織布整科	1	住宅設備機器科	9	〔化学繊維科〕	1
織機調整科	1	さく井科	4	〔地質調査科〕	1
染色科	1	土木科	27	〔がん具科〕	1
洋服裁科	246	測量科	7	〔工事管理科〕	3
洋服科	84	建築物設備管理科	2	小計	16
縫製科	46	ボイラー科	1	合計	(48) 15,878

- ※1 職種は、職業能力開発促進法施行規則別表第11による。
 2 〔 〕の職種は、施行規則の一部改正により廃止されたもの。
 3 () は、平成19年度の交付者数で内数

(2) 職業訓練指導員試験

職業訓練指導員としての資格を取得するための試験であり、合格者には申請により職業訓練指導員免許が交付される。

平成19年度職業訓練指導員試験実施状況

受 験 免 許 職 種	受験申請者数	合格者数	合 格 率
造 園 科	3 ^人	3 ^人	100.0 [%]
塑 性 加 工 科	2	1	50.0
構 造 物 鉄 工 科	3	3	100.0
機 械 科	10	7	70.0
自 動 車 整 備 科	9	7	77.8
光 学 機 器 科	2	2	100.0
木 工 科	5	4	80.0
プ ラ ス チ ッ ク 製 品 科	1	1	100.0
建 築 科	3	3	100.0
と び 科	3	0	0.0
建 設 科	1	0	0.0
屋 根 科	1	1	100.0
建 築 板 金 科	1	0	0.0
畳 科	1	1	100.0
イ ン テ リ ア 科	1	0	0.0
左 官 ・ タ イ ル 科	1	0	0.0
熱 絶 縁 科	1	1	100.0
配 管 科	1	1	100.0
塗 装 科	2	2	100.0
ホ テ ル ・ 旅 館 ・ レ ス ト ラ ン 科	2	2	100.0
日 本 料 理 科	1	0	0.0
フ ラ ワ ー 装 飾 科	4	2	50.0
計	58	41	70.7

6 技能検定実施状況

技能検定は、職業能力開発の一環として、技能労働者の技能水準と地位の向上を図るために実施するものである。

すなわち、技能労働者の有する技能を全国的に統一された一定の基準に基づいて検定し、これを公証する国家検定制度であって、職業訓練法の施行に伴い昭和34年度から実施している。

この検定は、政令で定める職種ごとに特級、1級、2級、3級、随時3級、基礎1級、基礎2級及び単一等級に区分され、知事が実施するものであるが、試験については福島県職業能力開発協会が知事の委任を受け、年2回（前期・後期）実施している。

(1) 平成19年度技能検定実施状況

① 前期実施

（1級及び2級）

職種名	作業名	1 級			2 級			合 計		
		受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率
造 園	造 園 工 事 作 業	33	20	60.6	42	15	35.7	75	35	46.7
機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	11	1	9.1	43	14	32.6	54	15	27.8
	フ ラ イ ス 盤 作 業	6	1	16.7	20	8	40.0	26	9	34.6
	平 面 研 削 盤 作 業	7	1	14.3	21	6	28.6	28	7	25.0
	円 筒 研 削 盤 作 業	0	0	0.0	6	1	16.7	6	1	16.7
	ボ ブ 盤 作 業	0	0	0.0	5	2	40.0	5	2	40.0
	数 値 制 御 旋 盤 作 業	32	2	6.3	44	16	36.4	76	18	23.7
	数 値 制 御 フ ラ イ ス 盤 作 業	25	7	28.0	33	15	45.5	58	22	37.9
	マ シ ニ ン グ セ ン タ 作 業	14	1	7.1	40	9	22.5	54	10	18.5
放 電 加 工	数 値 制 御 形 彫 り 放 電 加 工 作 業	1	0	0.0	9	0	0.0	10	0	0.0
	ワ イ ヤ 放 電 加 工 作 業	3	0	0.0	13	3	23.1	16	3	18.8
金 属 プ レ ス 加 工	金 属 プ レ ス 作 業	3	3	100.0	20	10	50.0	23	13	56.5
	プ レ ス 金 型 製 作 作 業	0	0	0.0	1	1	100.0	1	1	100.0
鉄 工	製 缶 作 業	1	1	100.0	4	3	75.0	5	4	80.0
	構 造 物 鉄 工 作 業	7	4	57.1	8	4	50.0	15	8	53.3
建 築 板 金	内 外 装 板 金 作 業	35	13	37.1	16	5	31.3	51	18	35.3
	ダ ク ト 板 金 作 業	7	4	57.1	9	8	88.9	16	12	75.0
工 場 板 金	曲 げ 板 金 作 業	4	1	25.0	4	1	25.0	8	2	25.0

職種名	作業名	級 別								
		1 級			2 級			合 計		
		受 検 申請者 人	合 格 者 人	合 格 率 %	受 検 申請者 人	合 格 者 人	合 格 率 %	受 検 申請者 人	合 格 者 人	合 格 率 %
仕 上 げ	治 工 具 仕 上 げ 作 業	9	2	22.2	8	1	12.5	17	3	17.6
	金 型 仕 上 げ 作 業	9	1	11.1	4	0	0.0	13	1	7.7
	機 械 組 立 て 仕 上 げ 作 業	13	3	23.1	11	4	36.4	24	7	29.2
機 械 保 全	機 械 系 保 全 作 業	0	0	0.0	3	3	100.0	3	3	100.0
電 子 機 器 組 立	電 子 機 器 組 立 て 作 業	92	21	22.8	174	26	14.9	266	47	17.7
電 気 機 器 組 立	回 転 電 機 組 立 て 作 業	4	2	50.0	0	0	0.0	4	2	50.0
	変 圧 器 組 立 て 作 業	1	0	0.0	10	5	50.0	11	5	45.5
	配 電 盤 ・ 制 御 盤 組 立 て 作 業	5	0	0.0	17	10	58.8	22	10	45.5
	回 転 電 機 巻 線 製 作 作 業	5	2	40.0	2	0	0.0	7	2	28.6
半 導 体 製 品 製 造	集 積 回 路 チ ッ プ 製 造 作 業	0	0	0.0	24	24	100.0	24	24	100.0
産 業 車 両 整 備	産 業 車 両 整 備 作 業	2	0	0.0	4	2	50.0	6	2	33.3
鉄 道 車 両 製 造 ・ 整 備	内 部 ぎ 装 作 業	2	0	0.0	1	0	0.0	3	0	0.0
	配 管 ぎ 装 作 業	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	電 気 ぎ 装 作 業	5	0	0.0	4	2	50.0	9	2	22.2
光 学 機 器 製 造	光 学 ガ ラ ス 研 磨 作 業	7	1	14.3	18	6	33.3	25	7	28.0
空 気 圧 装 置 組 立	空 気 圧 装 置 組 立 て 作 業	0	0	0.0	1	1	100.0	1	1	100.0
建 設 機 械 整 備	建 設 機 械 整 備 作 業	9	0	0.0	28	8	28.6	37	8	21.6
婦 人 子 供 服 装 製 造	婦 人 子 供 注 文 服 製 作 作 業	0	0	0.0	6	0	0.0	6	0	0.0
布 は く 縫 製	ワ イ シ ャ ッ 製 造 作 業	0	0	0.0	10	9	90.0	10	9	90.0
家 具 製 作	家 具 手 加 工 作 業	3	3	100.0	0	0	0.0	3	3	100.0
建 具 製 作	木 製 建 具 手 加 工 作 業	4	1	25.0	4	1	25.0	8	2	25.0
	木 製 建 具 機 械 加 工 作 業	7	2	28.6	2	0	0.0	9	2	22.2
プ ラ ス チ ッ ク 成 形	射 出 成 形 作 業	47	9	19.1	97	24	24.7	144	33	22.9
建 築 大 工	大 工 工 事 作 業	0	0	0.0	31	31	100.0	31	31	100.0
石 材 施 工	石 張 り 作 業	5	2	40.0	0	0	0.0	5	2	40.0
と び	と び 作 業	39	18	46.2	44	23	52.3	83	41	49.4
左 官	左 官 作 業	7	5	71.4	10	6	60.0	17	11	64.7
ブ ロ ッ ク 建 築	コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 工 事 作 業	6	4	66.7	1	0	0.0	7	4	57.1
タ イ ル 張 り	タ イ ル 張 り 作 業	8	5	62.5	1	1	100.0	9	6	66.7

職種名	作業名	級 別		1 級			2 級			合 計		
		受検申請者・合格者数		受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率
		人	人	%	人	人	%	人	人	%		
畳 製 作	畳 製 作 作 業	3	1	33.3	3	2	66.7	6	3	50.0		
配 管	建 築 配 管 作 業	0	0	0.0	5	5	100.0	5	5	100.0		
防 水 施 工	ウレタンゴム系塗膜防水工事作業	3	0	0.0	5	0	0.0	8	0	0.0		
	アクリル系ゴム系塗膜防水工事作業	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0		
	シーリング防水工事作業	10	5	50.0	5	3	60.0	15	8	53.3		
	F R P 防水工事作業	10	7	70.0	2	0	0.0	12	7	58.3		
内 装 仕 上 げ 施 工	プラスチック系床仕上げ工事作業	9	5	55.6	3	2	66.7	12	7	58.3		
	カーペット系床仕上げ工事作業	0	0	0.0	1	1	100.0	1	1	100.0		
	鋼製下地工事作業	7	5	71.4	0	0	0.0	7	5	71.4		
	ボード仕上げ工事作業	4	3	75.0	0	0	0.0	4	3	75.0		
熱 絶 縁 施 工	保 温 保 冷 工 事 作 業	23	9	39.1	3	2	66.7	26	11	42.3		
サ ッ シ 施 工	ビ ル 用 サ ッ シ 施 工 作 業	15	6	40.0	3	2	66.7	18	8	44.4		
表 装	表 具 作 業	2	2	100.0	0	0	0.0	2	2	100.0		
	壁 装 作 業	22	12	54.5	6	3	50.0	28	15	53.6		
塗 装	建 築 塗 装 作 業	68	32	47.1	29	17	58.6	97	49	50.5		
	金 属 塗 装 作 業	10	5	50.0	20	8	40.0	30	13	43.3		
広 告 美 術 仕 上 げ	広 告 面 ペ イ ン ト 仕 上 げ 作 業	1	0	0.0	0	0	0.0	1	0	0.0		
	広 告 面 粘 着 シ ー ト 仕 上 げ 作 業	4	3	75.0	4	2	50.0	8	5	62.5		
写 真	肖 像 写 真 作 業	1	1	100.0	3	1	33.3	4	2	50.0		
フ ラ ワ ー 装	フ ラ ワ ー 装 飾 作 業	11	2	18.2	13	9	69.2	24	11	45.8		
合 計		681	238	34.9	958	365	38.1	1,639	603	36.8		

(単一等級)

職 種 名	作 業 名	受 検 申 請 者	合 格 者	合 格 率
産 業 洗 浄	高 圧 洗 浄 作 業	52 ^人	27 ^人	51.9 [%]
合 計		52	27	51.9

(3 級)

職 種	作 業 名	受検申請者	合格者	合格率
造 園	造 園 工 事 作 業	17 ^人	13 ^人	76.5 [%]
機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	43	31	72.1
電 子 機 器 組 立 て	電 子 機 器 組 立 て 作 業	32	20	62.5
舞 台 機 構 調 整	音 響 機 構 調 整 作 業	12	8	66.7
フ ラ ワ ー 装 飾	フ ラ ワ ー 装 飾 作 業	1	1	100.0
電 気 機 器 組 立 て	シ ー ケ ン ス 制 御 作 業	1	1	100.0
合 計		106	74	69.8

(随時3級)

職 種 名	作 業 名	受検申請者	合格者	合格率
婦 人 子 供 服 製 造	婦 人 子 供 既 製 服 製 造 作 業	41 ^人	28 ^人	68.3 [%]
合 計		41	28	68.3

(基礎1級)

職 種 名	作 業 名	受検申請者	合格者	合格率
婦 人 子 供 服 製 造	婦 人 子 供 既 製 服 製 造 作 業	3 ^人	3 ^人	100.0 [%]
合 計		3	3	100.0

(基礎2級)

職 種 名	作 業 名	受検申請者	合 格 者	合 格 率
電子機器組立て	電 子 機 器 組 立 て 作 業	59 ^人	57 ^人	96.6 [%]
婦人子供服製造	婦 人 子 供 既 製 服 製 造 作 業	227	220	96.9
工 場 板 金	機 械 板 金 作 業	1	1	100.0
機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	14	10	71.4
機 械 検 査	機 械 検 査 作 業	1	1	100.0
電気機器組立て	回 転 電 機 巻 線 製 作 作 業	1	1	100.0
プラスチック成形	射 出 成 形 作 業	14	14	100.0
金属プレス加工	金 属 プ レ ス 作 業	5	3	60.0
寝 具 製 作	寝 具 製 作 作 業	6	6	100.0
ダ イ カ ス ト	コールドチャンバダイカスト作業	16	15	93.8
と び	と び 作 業	3	3	100.0
布 は く 縫 製	(ワイシャツ製造作業)	5	5	100.0
家 具 製 作	家 具 手 加 工 作 業	1	1	100.0
タ イ ル 張 り	タ イ ル 張 り 作 業	3	3	100.0
仕 上 げ	治 工 具 仕 上 げ 作 業	6	6	100.0
紳 士 服 製 造	紳 士 既 製 服 製 造 作 業	28	28	100.0
塗 装	噴 霧 塗 装 作 業	3	1	33.3
合 計		393	375	95.4

② 後 期 実 施

(特 級)

職 種 名	受 検 申 請 者	合 格 者	合 格 率
機 械 加 工	5 ^人	1 ^人	20.0 [%]
め っ き	0	0	0.0
仕 上 げ	3	0	0.0
機 械 保 全	6	5	83.3
電 子 機 器 組 立 て	23	4	17.4
半 導 体 製 品 製 造	4	1	25.0
プ リ ン ト 配 線 板 製 造	3	0	0.0
光 学 機 器 製 造	12	6	50.0
空 気 圧 装 置 組 立 て	3	0	0.0
建 設 機 械 整 備	1	0	0.0
プ ラ ス チ ッ ク 成 形	10	1	10.0
合 計	70	18	25.7

(1級・2級)

職種名	作業名	1 級			2 級			合 計		
		受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率
さ く 井	ロータリー式さく井 工事 作 業	6	4	66.7	1	1	100.0	7	5	71.4
機 械 加 工	フ ラ イ ス 盤 作 業	0	0	0.0	1	1	100.0	1	1	100.0
建 築 板 金	内 外 装 板 金 作 業	0	0	0.0	1	1	100.0	1	1	100.0
工 場 板 金	機 械 板 金 作 業	5	1	20.0	17	6	35.3	22	7	31.8
	数値制御タレットパン チプレス板金作業	0	0	0.0	11	6	54.5	11	6	54.5
機 械 検 査	機 械 検 査 作 業	20	1	5.0	50	0	0.0	70	1	1.4
機 械 保 全	機 械 系 保 全 作 業	143	36	25.2	298	116	38.9	441	152	34.5
	電 気 系 保 全 作 業	25	10	40.0	40	10	25.0	65	20	30.8
	設 備 診 断 作 業	45	11	24.4	46	11	23.9	91	22	24.2
電 気 機 器 組 立	シーケンス制御作業	5	2	40.0	12	3	25.0	17	5	29.4
半 導 体 製 品 製 造	集 積 回 路 チ ッ プ 製 造	28	6	21.4	90	14	15.6	118	20	16.9
プ リ ン ト 配 線 板 製 造	プ リ ン ト 配 線 板 設 計 作 業	16	2	12.5	2	1	50.0	18	3	16.7
	プ リ ン ト 配 線 板 製 造 作 業	3	1	33.3	40	5	12.5	43	6	14.0
鉄 道 車 両 製 造 ・ 整 備	内 部 ぎ 装 作 業	1	1	100.0	0	0	0.0	1	1	100.0
	電 気 ぎ 装 作 業	2	2	100.0	0	0	0.0	2	2	100.0
	走 行 装 置 整 備 作 業	0	0	0.0	5	4	80.0	5	4	80.0
	鉄 道 車 両 点 検 ・ 調 整 作 業	7	3	42.9	23	10	43.5	30	13	43.3
光 学 機 器 製 造	光 学 機 器 組 立 作 業	57	17	29.8	84	25	29.8	141	42	29.8
内 燃 機 関 組 立	量 産 形 内 燃 機 関 組 立 作 業	2	0	0.0	6	1	16.7	8	1	12.5
空 気 圧 装 置 組 立	空 気 圧 装 置 組 立 作 業	25	17	68.0	47	14	29.8	72	31	43.1
油 圧 装 置 調 整	油 圧 装 置 調 整 作 業	7	3	42.9	9	4	44.4	16	7	43.8
農 業 機 械 整 備	農 業 機 械 整 備 作 業	33	9	27.3	45	26	57.8	78	35	44.9
冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工 作 業	23	5	21.7	9	2	22.2	32	7	21.9
婦 人 子 供 服 製 造	婦 人 子 供 既 製 服 縫 製 作 業	4	0	0.0	4	1	25.0	8	1	12.5
和 裁	和 服 製 作 作 業	1	1	100.0	4	0	0.0	5	1	20.0

職種名	作業名	1 級			2 級			合 計		
		受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率	受 検 申請者	合格者	合格率
プラスチック成	射出成形作業	0	0	0.0	1	1	100.0	1	1	100.0
石材施工	石材加工作業	3	0	0.0	0	0	0.0	3	0	0.0
	石積み作業	4	1	25.0	1	0	0.0	5	1	20.0
建築大工	大工工事作業	52	15	28.8	22	3	13.6	74	18	24.3
かわらぶき	かわらぶき作業	5	4	80.0	8	6	75.0	13	10	76.9
と び	と び 作 業	1	1	100.0	0	0	0	1	1	100.0
配 管	建築配管作業	67	24	35.8	28	14	50.0	95	38	40.0
型枠施工	型枠工事作業	30	22	73.3	1	1	100.0	31	23	74.2
鉄筋施工	鉄筋組立て作業	21	15	71.4	10	8	80.0	31	23	74.2
防水施工	合成ゴム系シート防水工事作業	1	0	0.0	0	0	0.0	1	0	0.0
	塩化ビニル系シート防水工事作業	5	0	0.0	0	0	0.0	5	0	0.0
カーテンウォール施工	金属製カーテンウォール工事作業	9	5	55.6	1	1	100.0	10	6	60.0
ガラス施工	ガラス工事作業	4	1	25.0	4	3	75.0	8	4	50.0
機械・プラント製図	機械製図CAD作業	1	0	0.0	13	1	7.7	14	1	7.1
塗 装	鋼橋塗装作業	10	6	60.0	1	1	100.0	11	7	63.6
合 計		671	226	33.7	935	301	32.2	1,606	527	32.8

(3 級)

職 種 名	作 業 名	受検申請者	合 格 者	合 格 率
機 械 検 査	機 械 検 査 作 業	17	2	11.8
電 気 機 器 組 立 て	シ ー ケ ン ス 制 御 作 業	24	0	0.0
建 築 大 工	大 工 工 事 作 業	23	20	87.0
配 管	建 築 配 管 作 業	6	4	66.7
合 計		70	26	37.1

(随時3級)

職 種 名	作 業 名	受検申請者	合 格 者	合 格 率
婦人子供服製造	婦人子供既製服製造作業	4 ^人	4 ^人	100.0 [%]
合	計	4	4	100.0

(基礎2級)

職 種 名	作 業 名	受検申請者	合 格 者	合 格 率
電子機器組立て	電子機器組立て作業	75 ^人	75 ^人	100.0 [%]
婦人子供服製造	婦人子供既製服製造作業	302	294	97.4
機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	22	20	90.9
プラスチック成形	射 出 成 形 作 業	3	3	100.0
	圧 縮 成 形 作 業	3	3	100.0
	インフレーション成形作業	3	3	100.0
金属プレス加工	金 属 プ レ ス 作 業	24	24	100.0
と び	と び 作 業	2	2	100.0
家 具 製 作	家 具 手 加 工 作 業	4	3	75.0
紳士服製造	紳士既製服製造作業	9	9	100.0
塗 装	噴 霧 塗 装 作 業	2	2	100.0
鋳 造	鋳 鉄 鋳 物 鋳 造 作 業	11	11	100.0
プリント配線板製	プリント配線板製造作業	7	6	85.7
型 枠 施 工	型 枠 工 事 作 業	6	6	100.0
鉄 筋 施 工	鉄 筋 組 立 て 作 業	8	8	100.0
帆布製品製造	帆 布 製 品 製 造 作 業	17	15	88.2
コンクリート圧送施	コンクリート圧送工事作業	2	2	100.0
建 築 大 工	大 工 工 事	1	0	0.0
合	計	501	486	97.0

(2) 年度別技能検定実施状況

年 度		S34~ H 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
特 級	受 検 申請者	(注1) 161	35	44	51	46	54	56	59	48	48	50	68
	合格者	(注1) 40	8	6	11	8	12	13	9	7	16	6	14
	合格率	24.8	22.9	13.6	21.6	17.4	22.2	23.2	15.3	14.6	33.3	12.0	20.6
一 級	受 検 申請者	27,426	738	802	803	862	903	886	982	1,224	1,162	1,512	1,514
	合格者	11,174	324	329	313	355	368	332	367	463	489	617	535
	合格率	40.7	43.9	41.0	39.0	41.2	40.8	37.5	37.4	37.8	42.1	40.8	35.3
単 一 等 級	受 検 申請者	1,400	93	112	99	145	127	106	105	118	68	85	48
	合格者	572	50	79	54	70	79	59	52	76	42	57	11
	合格率	40.9	53.8	70.5	54.5	48.3	62.2	55.7	49.5	64.4	61.8	67.1	22.9
二 級	受 検 申請者	48,177	1,734	2,080	2,185	2,134	2,135	2,094	1,996	1,922	1,803	1,873	1,959
	合格者	17,418	827	953	872	957	909	880	856	873	833	744	734
	合格率	36.2	47.7	45.8	39.9	44.8	42.6	42.0	42.9	45.4	46.2	39.7	37.5
三 級	受 検 申請者	(注2) 22	18	32	31	45	21	25	19	11	13	70	81
	合格者	(注2) 12	17	25	23	33	16	22	12	9	8	32	30
	合格率	54.5	94.4	78.1	74.2	73.3	76.2	88	63.2	81.8	61.5	45.7	37.0
随 時 三 級	受 検 申請者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合格者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合格率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基 礎 一 級	受 検 申請者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	10	1	7
	合格者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	1	7
	合格率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	80.0	100.0	100.0
基 礎 二 級	受 検 申請者	19	10	30	84	107	95	174	289	378	407	606	660
	合格者	18	10	25	84	107	95	174	289	357	388	543	650
	合格率	94.7	100.0	83.3	100.0	100.0	100	100.0	100	94.4	95.3	89.6	98.5
計	受 検 申請者	77,205	2,628	3,100	3,253	3,339	3,335	3,341	3,450	3,701	3,511	4,197	4,337
	合格者	29,234	1,236	1,417	1,357	1,530	1,479	1,480	1,585	1,785	1,784	2,000	1,981
	合格率	37.9	47.0	45.7	41.7	45.8	44.3	44.3	45.9	48.2	50.8	47.7	45.7

(注1) 特級は、S 63からH 6までの累計を表す。

(注2) 3級は、H 5～H 6までの累計を表す。

18	19	累 計
78	70	868
9	18	177
11.5	25.7	20.4
1,500	1,352	41,666
519	464	16,649
34.6	34.3	40.0
81	52	2,639
55	27	1,283
67.9	51.9	48.6
1,959	1,893	73,944
758	666	28,280
38.7	35.2	38.2
136	176	700
79	100	418
58.1	56.8	59.7
3	45	48
3	32	35
100.0	71.1	72.9
3	3	24
3	3	22
100.0	100.0	91.7
661	894	4,366
645	861	4,246
97.6	96.3	97.3
4,421	4,485	124,303
2,071	2,171	51,110
46.8	48.4	41.1

7 ものづくりフェスタ実施状況

ものづくりフェスタでは、本県の技能の振興を図るとともに、技能の重要性・魅力をアピールするため、技能者による技能競技大会、技能五輪全国大会出場選手や技能グランプリ出場者によるデモンストレーションを実施している。

(1) 福島県青年技能者技能競技大会

(単位：人)

年度	開催市	かわらき かぶ	建大	築工	建板	築金	左官	配管	ブロック 建築	広美	告術	美容	理容	小計
14	郡山市	0	9	8	8	10	7	7	10	8	67			
15	福島市	10	13	7	8	8	6	0	10	8	70			
16	いわき市	9	11	7	8	8	6	0	8	8	65			
17	会津若松市	8	10	8	7	10	6	0	9	8	66			
18	須賀川市	9	0	0	6	8	0	0	9	7	39			

(2) 福島県技能者技能競技大会

(単位：人)

年度	開催市	かわらき かぶ	建大	築工	建板	築金	左官	配管	ブロック 建築	広美	告術	美容	理容	小計
19	福島市	9	0	0	7	6	0	0	0	0	6	28		

(3) 技能五輪出場選手デモンストレーション

(単位：人)

年度	開催市	左官	造園	建具	電工	配管	タイル 張り	広告 美術	美容	理容	洋裁	和裁	メカトロ ニクス	フラワー 装飾	洋菓子 製造	建築 大工	小計
14	郡山市	1	0	0	1	5	0	0	0	2	0	2	0	0	1	0	12
15	福島市	0	2	2	0	6	0	5	3	0	0	0	2	1	0	0	21
16	いわき市	0	2	0	0	2	2	4	2	0	0	0	2	1	0	0	15
17	会津若松市	0	2	0	0	2	0	1	3	0	2	1	2	0	0	0	13
18	須賀川市	0	2	2	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	4	11

(4) 熟練技能者デモンストレーション

(単位：人)

年度	開催市	かわらき かぶ	建大 築工	建板 築金	石施 材工	造園	畳製作	表装	レンガ 積み	広美 告術	美容	日料 本理	小計
14	郡山市	3	2	3	2	0	2	3	0	2	1	0	18
15	福島市	0	0	5	0	2	3	2	0	2	0	0	14
16	いわき市	0	0	3	0	0	5	2	6	1	0	0	17
17	会津若松市	0	0	5	0	0	1	2	0	1	0	0	9
18	須賀川市	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	4

(5) 技能者デモンストレーション

(単位：人)

年度	開催市	造園	広美 告術	理容	建大 築工	ブロック 建	畳製作	とび	塗装	小計
19	福島市	4	2	1	2	2	2	4	1	18

(6) 参加者数

(単位：人)

年度	開催市	福島県青年 技能競技大会	福島県技能者 技能競技大会	技能五輪出場 選手デモンス トレーション	熟練技能者 デモンストレー ション	技能者 デモンストレー ション	合計
14	郡山市	67	—	12	18	—	97
15	福島市	70	—	21	14	—	105
16	いわき市	65	—	15	17	—	97
17	会津若松市	66	—	13	9	—	88
18	須賀川市	39	28	11	4	—	82
19	福島市	—	—	—	—	18	18

8 技能競技大会での成績

(1) 青年技能者技能競技大会（技能五輪全国大会）

技能五輪全国大会は、国内の青年技能者が技能レベルを競うことにより、青年技能者に努力目標を与えるとともに、大会開催地域の若者に優れた技能を身近に触れる機会を提供することなどを目的に行っている。この大会は、満23歳以下で、地方予選または推薦等により選抜された者が出場する。なお、全国大会において満21歳以下で1位になった者は技能五輪国際大会に日本代表として派遣される。

(単位：人)

区分 回(年度)	地方大会			全国大会入賞者数					備考
	参加者 申込者	参加者	全国大会 派遣者	1位 金賞	2位 銀賞	3位 銅賞	4位 敢闘賞	5位	
第3回(40)	49	48	10	1	1				配管、峰屋道夫全国大会 (ポルトガル) 5位
第4回(41)	45	40	7				1	1	
第5回(42)	28	26	5			1		1	
第6回(43)	58	51	6					1	
第7回(44)	83	70	9		1			1	
第8回(45)	122	106	16		1				
第9回(46)	120	104	12						
第10回(47)	171	144	15	1	1				広告美術、片平義雄スペイン 国内技能競技大会へ参加
第11回(48)	156	127	16						
第12回(49)	151	128	16	2		1		1	家具、安斎二三雄、広告美術、 古川求スペイン国内技能競技 大会へ参加
第13回(50)	120	102	13		1	3			
第14回(51)	108	103	10		1	1			
第15回(52)	98	96	11		3				
第16回(53)	92	86	7		1	1			
第17回(54)	73	68	6			2			
第18回(55)	75	72	7						
第19回(56)	73	63	6		1	1			
第20回(57)	89	89	5	1				1	広告美術、伊藤幸芳スペイン 国内技能競技大会へ参加
第21回(58)	102	96	8			1	1		
第22回(59)	119	119	9	1					配管、遠藤心一ポルトガル国 内技能競技大会へ参加
第23回(60)	101	95	7			1			
第24回(61)	71	69	4				1		
第25回(62)	110	98	4				1		
第26回(63)	63	63	2					1	
第27回(元)	36	35	3			2			
第28回(2)	34	33	3					1	
第29回(3)	12	12	3	1					広告美術、類家常雄、第31回技能五輪 国際大会(アムステルダム)へ参加
第30回(4)	19	19	1						

(単位：人)

区分 回(年度)	地方大会			全国大会入賞者数					備 考
	参加者 申込者	参加者	全国大会者 派遣者	1位 金賞	2位 銀賞	3位 銅賞	4位 敢闘賞	5位	
第31回(5)	26	26	4			1			
第32回(6)	56	56	4	1	1				配管、阿久津昌久、第33回技能五輪国際大会(フランス・リヨン)へ参加
第33回(7)	57	57	5						
第34回(8)	47	47	7		1			2	
第35回(9)	83	83	13		1	1			
第36回(10)	110	107	17		1	1		3	
第37回(11)	161	161	43		2	4		8	
第38回(12)	205	196	59	2	5	4		12	左官 大橋 賢、建築大工 神尾雄二、第36回技能五輪国際大会(韓国・ソウル)へ参加
第39回(13)	215	206	120	9	13	12		35	
第40回(14)	145	144	40	3	3	6		8	造園 杉岡康平・赤井俊典、 広告美術 三坂太志、 建具 新明一弥、第37回技能五輪国際大会(スイス・ザンクトガレン)へ参加
第41回(15)	165	161	57	2	6	2		9	
第42回(16)	155	154	49	1	4	3		13	
第43回(17)	141	141	39		4	2		6	
第44回(18)	134	132	25	2		5		8	理容 河野健太、第39回技能五輪国際大会(日本・静岡)へ参加
第45回(19)	131	131	17	2	3	3		3	
累 計	4,209	3,964	720	29	55	58		119	

(2) 一級技能士全国技能競技大会（技能グランプリ）

この大会は、技能士の技能の一層の向上を図るとともに、その地位の向上と技能尊重気運の醸成に資することを目的として、特に優れた技能を有する一級技能士による技能競技を行うものである。

(単位：人)

区分 回 (年度)	参 加 職 種													入 賞 者	
	建築 板金	表具	広告 美術	とび	建築 大工	建具	洋服	建築 配管	洋裁	壁装	かわら ぶき	写真	紳士服 製作		計
第1回 (56)	1	1	1	4	1		1							9	5位 建築板金…伊藤英男
第2回 (57)	1	1	1		1	1	1	1						7	
第3回 (58)			1		1	1	1	1	1					6	5位 洋 服…熊田智光
第4回 (59)			1		1	1	1	1	1					6	5位 建 具…佐藤幸雄
第5回 (60)		1	1		1	1	1	1						6	3位 広告美術…高木丈児 3位 建 具…真壁 充 5位 洋 服…加藤清春
第6回 (61)		1	1		1	1	1	1						6	
第7回 (62)		1	1		1	1	1	1		1	1			8	3位 広告美術…山口延夫 4位 建築配管…猪股巖男
第8回 (63)		1	1		1	1	1	1		1	1			8	5位 建築配管…高橋純一
第9回 (元)		1	1				1	1						4	
第10回 (2)			1		1	1	1	1		1				6	2位 建 具…金沢良吉 5位 広告美術…松野良宏
第11回 (3)			1		1		1			1				4	4位 洋 服…加藤清春
第12回 (4)	1		1				1			1		1		5	3位 広告美術…高橋浩治 3位 建築板金…小手森重勝 4位 洋 服…加藤清春
第13回 (5)			1		1		1			1		1		5	3位 広告美術…熊坂文男
第14回 (6)			1				2			1		2		6	1位 写 真…伊藤正春 2位 広告美術…野地良三 敢闘賞 塗 装…石丸光悦
第15回 (7)			2				2			1		1		6	2位 広告美術…野地良三 敢闘賞 広告美術…古川求
第16回 (8)			2				3	1		1		2		9	1位 写 真…橋本直喜 3位 広告美術…佐藤卓司 敢闘賞 写 真…酒井則江
第17回 (9)			2							2		1	2	7	2位 写 真…須田隆夫 3位 壁 装…小林博之 敢闘賞 広告美術…佐藤卓司

(単位：人)

区分 回 (年度)	参 加 職 種																入 賞 者	
	建築 板金	表具	広告 美術	とび	建築 大工	建具	洋服	建築 配管	洋裁	壁装	かわら ぶき	写真	紳士服 製作	畳 製作	日本 料理	旋盤		計
第18回 (10)		1	1									2	3				7	1位 写 真…酒井則江 3位 紳士服製作…加藤清春 3位 写 真…安藤勇一 敢闘賞 表 具…土屋秀男 敢闘賞 広告美術…橋本清信
第19回 (11)		1	2		1						1	1	3				9	2位 建築大工…村田 剛 3位 広告美術…橋本好一 敢闘賞 紳士服製作…加藤清春 敢闘賞 表 具…土屋秀男
第20回 (12)			1							1	1		3	1	2		9	2位 畳 製 作…吉田克浩 3位 紳士服製作…加藤清春
第21回 (13)			1		1								2	1			5	1位 広告美術…目黒 猛 2位 畳 製 作…吉田克浩 敢闘賞 紳士服製作…加藤清春 敢闘賞 建築大工…石川吉登
第22回 (14)			1		2					1			2	1	1		8	1位 畳 製 作…吉田克浩 2位 紳士服製作…加藤清春 3位 日本料理…鈴木義男
第23回 (16)			2		1					1			2	1	1	1	9	3位 紳士服製作…加藤清春 3位 日本料理…及川眞弘 敢闘賞 広告美術…松本英明 敢闘賞 建築大工…村田 剛
第24回 (18)													1				1	2位 紳士服製作…加藤清春

(3) 全国障害者技能競技大会（アビリンピック）

昭和47年度から全国障害者技能競技大会が開催されているが、これは全国の障害者に対する一般社会の理解と認識を深め、積極的に雇用促進を図ることを主旨として開催されるものである。

(単位：人)

区分 回 (年度)	参 加 職 種														入 賞 者	
	家具	建具	洋服	時計 修理	洋裁	広告 美術	和裁	日本語 ワープロ	パソコン 表計算	歯科 技工	パソコン 操 作	縫製	ワード プロセッサ	データ ベース		計
第1回 (47)			1	1	1	1									4	金賞 洋 服…鈴木ヨネ 銀賞 広告美術…関 邦治
第2回 (48)	2	1		1	1										5	
第3回 (49)	1			1	1										3	
第4回 (50)		1					1								2	銀賞 建 具…橋本登美治
第5回 (51)					1										1	
第6回 (52)			1		2										3	銀賞 洋 裁…薄葉妙子
第7回 (53)					2										2	
第8回 (54)					1	1	2								4	
第9回 (55)					1	1									2	銀賞 広告美術…小野寺醸
第10回 (57)		1			1										2	銅賞 建 具…黒鳥 淳
第11回 (58)			1			1									2	金賞 広告美術…熊谷昭二 銀賞 洋 服…菅野文春
第12回 (59)		1													1	銅賞 建 具…松林正一
第13回 (61)					1										1	
第14回 (62)			1												1	銅賞 洋 服…木村ちか子
第15回 (63)		1			1										2	銀賞 建 具…矢吹正志
第16回 (元)	1														1	銀賞 家 具…後藤洋二
第17回 (2)	1														1	金賞 家 具…後藤洋二 (国際大会、3年度銅賞)
第18回 (4)			1												1	
第19回 (5)					1										1	銅賞 洋 裁…渡部文雄
第20回 (6)					1			1							2	
第21回 (8)								1							1	
第22回 (9)								1	1						2	

(単位：人)

区分 回 (年度)	参 加 職 種														入 賞 者	
	家具	建具	洋服	時計 修理	洋裁	広告 美術	和裁	日本語 ワープロ	パソコン 表計算	歯科 技工	パソコン 操 作	縫製	ワードプ ロセッサ	デー タ ベース		計
第23回 (10)															0	
第24回 (11)															0	
第25回 (13)															0	
第26回 (14)										1					1	
第27回 (16)											1	1	1	1	4	銀 賞 パソコン操作…久保 賢 銅 賞 縫 製…岩井米子 努力賞 データベース…遠藤朝幸
第28回 (17)											1	1	1	1	4	努力賞 パソコン操作…久保 賢 努力賞 データベース…遠藤朝幸
第29回 (18)											1	1	1	1	4	

9 うつくしまものづくり大賞

「うつくしいものづくり」の理念に基づく製品開発を促進するとともに、様々な機会をとらえたふくしま発製品の積極的なPRやマッチング、販路開拓を支援し、売れるものづくりの推進を図ることを目的として、平成18年度に「うつくしまものづくり大賞」を創設した。

第2回うつくしまものづくり大賞の概要は次のとおり。

■ 経 緯

<対象製品の募集>

- ・募集期間 平成19年8月1日（水）～10月10日（水）
- ・募集対象 平成16年4月1日以降に商品化された（改良された）最終製品
- ・応募製品 43製品

<一次審査>

- ・日 時 平成19年10月30日（火） 13：30～16：30
- ・場 所 杉妻会館 3階 鈴蘭
- ・結 果 書類審査により、応募のあった43製品から、9製品を二次審査対象製品として選考。

<最終審査>

- ・日 時 平成19年12月19日（水） 13：00～16：45
- ・場 所 ビッグパレットふくしま 小会議室2・3
- ・結 果 応募者によるプレゼンテーション及び現物による審査を行い、大賞1点、優秀賞1点、特別賞1点、クリエイティブ賞3点を選考。

■ 大賞等の受賞製品の決定

○ 大 賞

製 品 名：光熱フィルター

事 業 所 名：株式会社フミン（福島市）

- ・太陽からの熱線と紫外線を同時にカットするコーティング剤を窓ガラス等に塗布する技術

【審査委員長講評】

熱の透過が減少する効果を実感させるフィルターのプレゼンテーションには審査員全員が説得され感激しました。しかもこの技術のすばらしさは、すでに完成している建物にも大掛かりな設備なしで応用できることです。本年7月に予定されている「北海道洞爺湖サミット」では懸念されている地球規模の環境破壊にどう対応するか、が語られます。まさにそんなチャンスにふさわしい技術であることは間違いありません。国際的な展開が期待されます。

○ 優 秀 賞

製 品 名：てづくりでやさしいファーストシューズ

事 業 所 名：KANNOEN（福島市）

- ・母親にも赤ちゃんにも優しいてづくり用ファーストシューズキット

【審査委員長講評】

これから生まれるだろう子供のために、母親が縫い上げる最初の靴のキット、という心豊かな発想、そしてその部分の一つ一つの素材とデザインの完成度の高さが評価されました。しかも、ユニークな分野で若者に起業可能なことを知らせる役割を担っているデザインでもあります。

○ 特 別 賞

製 品 名：いやしの福とんぼ・みやびの舞

事 業 所 名：有限会社高田製作所（郡山市）

- ・地元の竹資源を使用した竹の民芸品、学習教材

【審査委員長講評】

土地に根ざした自然環境への関心を子供の心に焼きつけようとする遊びの用具です。工芸品にみえながら、実は精密な技術を応用した製作工程を経ているデザインであることも大いに評価されました。美しく、面白く、わくわく、を満足させながら、教育に貢献するという公益性にも優れた製品です。

○ クリエイティブ賞（3点）

製 品 名：ワンダーエコスリッパ

事 業 所 名：トキワ印刷株式会社（須賀川市）

- ・古紙、紙の裁断クズを原料としたスリッパ

製 品 名：省エネ型グラブバケット

事 業 所 名：株式会社福島製作所技術部（福島市）

- ・省エネ型電動油圧式グラブバケット

製 品 名：会津郷からむし織り～氷の衣シリーズ～

グループ名：昭和村・ARIKA・からむし氷魅呼企画グループ（昭和村、会津若松市）

- ・からむし織りの洋服

【審査委員長講評】

「ワンダーエコスリッパ」は、たち落としした葉書の再利用という素材の意外性とその再利用をスリッパに加工した点、「省エネ型グラブバケット」はエネルギーの消費を極力おさえた設計技術と利用者の安心色をデザインした点、「会津郷からむし織り～氷の衣シリーズ～」は消してはならない伝統の素材と織りの技術を豊かに現代に蘇らせたデザイン、がそれぞれ評価されました。

〔総 評〕

第2回うつくしまものづくり大賞43点応募をおおまかに分類すれば、環境対策製品、生活用品、工芸的な製品、健康、教育、農業関連、そしてビジネスモデル提案、などでした。書類審査した43点の中から9点が2回目の審査の対象となり、応募者によるプレゼンテーションを行い、現物を見て審査しました。それぞれのプレゼンテーションは熱意と説得力にあふれ充実したものでした。もちろん審査は美しさ、機能、技術・技能、環境への配慮、そして市場への可能性を点数にして評価しました。先進的な技術が大きな評価を得ましたが、特許登録とデザインの先進性に注目した、というのが本年度の結果の特徴です。

■ 審査委員（敬称略、五十音順）

赤 池 学	株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所代表取締役所長
竹 原 あき子	（審査委員長）和光大学表現学部芸術学科教授
時野谷 茂	会津大学短期大学部産業情報学科教授
花 澤 治 子	特定非営利活動法人ふるさと往来クラブ事務局長
水 谷 壮 市	株式会社水谷壮市デザイン事務所代表取締役
宮 野 壯太郎	福島県ハイテクプラザ所長
柳 田 公 雄	福島県産業技術顧問

10 技能者表彰一覧

技能者表彰制度には、広く社会一般に技能尊重の気風を浸透させることにより、技能者の地位及び技能水準の向上を図ることを目的とし、厚生労働大臣が卓越した技能者を表彰する技能者表彰制度（昭和42年度より実施）、知事が本県最高水準の技能を有し、他の技能者の模範としてふさわしい卓越した技能者を表彰する福島県技能者表彰制度（昭和51年度より実施）がある。

また、認定職業訓練及び技能検定の推進と技能水準の向上に資するため、認定職業訓練、技能検定功労者及び技能振興功労団体に対する厚生労働大臣の表彰制度がある。

(1) 卓越技能者表彰（厚生労働大臣表彰）

年度	職 種	氏 名	職 種	氏 名
43	金 属 溶 接	佐 藤 嘉 之 吉		
44	指 物 建 具	穴 戸 昇		
47	蒔 絵	関 谷 彦 藏		
48	陶 磁 器	田 代 清 治 右 衛 門		
49	建 築	木 村 長 久		
50	板 金	佐 戸 川 政 造	鉄 道 車 両 組 立 修 理	鈴 木 照 雄
	建 具	木 村 徳 治	こ け し 工 人	佐 藤 春 二
51	広 告 美 術	篠 崎 守 三	造 型 物 工	佐 藤 熊 吉
52	絵 ロ ー ソ ク 工	星 栄 作		
53	冷 凍 空 調 整 備 工	遠 藤 貞 雄		
54	時 計 修 理	菅 波 錦 平	量 職	高 橋 辰 治
	看 板 工	土 屋 正 二		
55	一 般 機 械 組 立	宮 川 弘	洋 服 仕 立	熊 田 留 一
56	左 官	涌 井 慶 次 郎		
57	陶 工	佐 竹 一 夫	大 工	山 岸 清 次
58	看 板 工	高 木 秀 雄	板 金 工	鈴 木 前 右 衛 門
59	建 具	山 崎 文 治	左 官	池 田 庄 司
60	左 官	梅 津 敏 美	家 具 製 造 工	畠 山 忠 吉
61	男 子 服 仕 立 職	佐 藤 俊 秋	木 彫 工	安 斎 喜 一 郎
62	大 工 職	君 利 美	木 製 建 具 製 造 工	山 岡 六 郎
63	木 彫 工	菅 野 俊 勝		
元	漆 器 工	中 村 正 榮	左 官	鈴 木 七 郎
	絵 幟 師	大 野 恒 雄		
2	紙 器 製 造 工	齋 藤 正 一		
3	左 官	五 十 嵐 和 好	漆 器 工	曾 根 卓 男
4	製 か ん 工	荒 井 傳 吉	板 金 工	村 上 武 雄
	石 工	沼 昇 一		

年度	職 種	氏 名	職 種	氏 名
5	大 工	志 賀 善 雄	広 告 美 術 工	遠 藤 光 晴
6	木製家具製造工	菊 池 幹	広 告 美 術 工	長 谷 川 義 雄
7	建 築 板 金 工	岡 一 郎	畳 工	吉 田 長 三 郎
8	建 築 大 工	馬 場 正 義	左 官	小 林 勝 利
	写 真 工	三 瓶 公 士		
9	和 服 仕 立 職	金 成 文 子	広 告 美 術 工	三 室 金 秋
	かわらぶき工	深 作 武		
10	表 具 師	熊 田 健	と び 工	山 口 留 男
	ブ ロ ッ ク 積 工	佐 久 間 正	建 築 板 金	星 正 申
	コンクリート枠組立	柳 沼 次 男		
11	宮 大 工	松 本 庸 一	漆 器 木 地 製 造	荒 井 祐 輔
	石 彫 工	遠 藤 忠 重		
12	建 築 大 工	瀬 谷 善 壽	広 告 美 術 工	佐 藤 義 信
	石 彫 工	万 波 孝		
13	左 官	佐 川 孝 行	畳 工	本 田 喜 一 郎
	日 本 料 理 人	金 田 亮 一		
14	ブ ロ ッ ク 積 工	折 笠 久 夫	表 具 師	小 林 昇
	石 彫 工	宗 像 周 正		
15	と び 工	石 原 章 男	木 製 建 具 製 造 工	政 井 寛 明
	男 子 服 仕 立 職	佐 川 賢	石 積 工	渡 邊 佳 春
16	と び 工	齋 藤 修 一		
17	ニット製品編立工	植 田 静 子	タ イ ル 張 工	蒲 倉 信 六
18	と び 工	穴 戸 隆 司	は く 押 沈 金 工	角 田 弘 司
	石 積 工	菊 地 芳 夫		
19	男 子 服 仕 立 職	熊 田 智 光	ア ー ク 溶 接 工	阿 部 隆

計 82 名

(2) 福島県技能者表彰（福島県知事表彰）

年度	職 種	氏 名	職 種	氏 名
51	建 築 大 工	鈴 木 伴 作	塗 装 工	二 瓶 喜 代 夫
	プ ラ ス チ ッ ク 成 形	奥 村 實	建 具 工	佐 久 間 善 治
	塗 装 工	古 川 喜 八		
52	畳 工	高 橋 辰 治	建 築 大 工	富 塚 一 正
	木 工	鈴 木 孫 次	紳 士 服 製 造	江 川 倅 雄
	と び	片 寄 孝 平	広 告 美 術 仕 上	土 屋 正 二
	板 金	松 田 榮	板 金	鈴 木 次 郎 吉
	木 工	畠 山 忠 吉	冷 凍 空 気 調 和 機 器 施 工	遠 藤 貞 雄
53	紳 士 服 製 造	熊 田 留 一	左 官	白 岩 啓 助
	広 告 美 術 仕 上	松 浦 貫 二	建 築 大 工	佐 々 木 忠 幸
	木 工	江 口 嘉 一	塗 装 工	二 瓶 富 士 夫
	左 官	涌 井 慶 次 郎	紳 士 服 製 造	鈴 木 正 寿
	建 築 大 工	四 家 太 一	板 金	見 滝 一 男
54	歯 車 製 作	藤 崎 柁 三 郎	金 属 溶 接	佐 藤 和 衛
	板 金	小 手 森 重 与	一 般 機 器 組 立	宮 川 弘
	左 官	佐 藤 栄 一	窯 業 絵 付 加 工	樋 山 淳 次
	石 工	馬 上 光 一	製 材 工	大 竹 善 太
	建 具	馬 場 金 一 郎	漆 器 沈 金	角 田 一 司
55	板 金	鈴 木 前 右 衛 門	一 般 機 械 修 理	若 林 武
	洋 服 仕 立	和 知 武 四 郎	社 寺 建 築	山 岸 清 次
	大 工	渡 辺 嘉 造	左 官	古 山 繁 太 郎
	漆 器 素 地 板 物 木 地 製 作	加 藤 美 好	建 具	山 崎 文 治
パ ン 製 造	新 妻 芳 美	菓 子 製 造	荒 井 政 一	
56	木 型 工	平 野 保	木 工	柳 沼 要
	計 器 組 立 工 ・ 調 整 工	阿 部 光 雄	蒔 絵 加 工	中 村 正 栄
	大 工	関 口 藤 吉	広 告 美 術 工	梅 津 秀 雄
	建 築 板 金	光 野 政 治	美 容 師	坂 本 ヨ シ ノ
	石 工	大 間 政 一	伽 藍 彫 刻	安 斎 喜 一 郎
57	洋 服 仕 立	菅 野 太 重	木 工	島 明
	建 築 板 金	渡 辺 順	パ ン ・ 菓 子 製 造	市 川 祐 男
	左 官	池 田 庄 司	看 板 工	遠 藤 光 晴
	と び 工	渡 辺 栄 七	塗 装 工	松 本 勲
	石 工	伊 藤 政 蔵	表 具 師	松 本 菊 郎

年度	職 種	氏 名	職 種	氏 名
58	溶接	岡 部 守	板 金	吉 田 金 藏
	鉄道車両組立・修理	大 越 庄 三 郎	洋 服 仕 立	佐 藤 俊 秋
	左 官	梅 津 敏 美	石 工	田 中 忠 弘
	木 工	山 岡 六 郎	沈 金	松 坂 政 次 郎
59	広 告 美 術	三 室 金 秋	刀 剣 研 磨	古 内 清 身
	板 金 工	伊 藤 英 男	左 官	渡 邊 春 吉
	洋 服 仕 立	佐 川 賢	木 工	荒 井 祐 輔
	和 服 仕 立	藤 沢 陽 野	建 具	佐 藤 金 安
60	大 工	君 利 美	建 具	田 村 建 治
	大 工	渡 部 一 正	看 板 工	長 谷 川 義 雄
	金 属 工 作 機 械 工	荒 井 傳 吉	陶 磁 器 工	鈴 木 幸 喜
	鉄 道 車 輛 組 立 工	松 本 昌 人	木 製 お け ・ た る 製 造 工	郡 司 久 一
61	洋 服 仕 立	植 木 廣 克	紙 器 製 造 工	齋 藤 正 一
	左 官	鈴 木 七 郎	酒 類 製 造 工	佐 藤 壽 一
	畳 工	中 根 佐 平 治	塗 装 工	根 本 專 一
	板 金 工	村 上 武 雄	和 服 仕 立 職	杉 山 昌 造
62	大 工	津 田 一 郎	石 工	大 和 田 敬 次 郎
	建 具 製 造 工	富 塚 今 朝 雄	木 彫 工	菅 野 俊 勝
	こ け し 工	西 山 憲 一	紙 製 品 製 造 工	森 川 清 光
	看 板 工	長 谷 川 利 雄	絵 幟 師	大 野 恒 雄
63	男 子 服 仕 立 職	森 下 公 博	建 具 製 造 工	菊 池 幹
	大 工	遠 藤 孝	漆 器 工	曾 根 卓 男
	左 官	大 橋 石 松	甲 冑 師	橋 斌
	畳 工	吉 田 長 三 郎	看 板 工	中 岡 久 雄
元	石 工	村 上 好 永	写 真 技 師	金 田 實
	鉄 工 ・ 製 缶 工	佐 々 木 茂	左 官	廣 瀬 寅 次 郎
	板 金 工	岡 一 郎	建 築 塗 装 工	菊 地 勝 男
	婦 人 ・ 子 供 服 仕 立 職	田 原 ハ ル	ブ ロ ッ ク 建 築 工	佐 久 間 正
元	大 工	小 林 昭 治	漆 器 工	加 藤 武 雄
	左 官	五 十 嵐 和 好	理 容 師	松 本 善 一 郎
	板 金 工	橋 本 美 義	左 官	小 川 道 雄
	男 子 服 仕 立 職	須 藤 友 弥	畳 工	宗 像 宗 雄
元	大 工	松 山 義 雄	こ け し 工	阿 部 一 郎
	大 工	志 賀 善 雄	水 引 細 工 師	増 賀 勝 實
	左 官	遠 藤 清	菓 子 製 造 工	長 谷 川 市 四 郎

年度	職 種	氏 名	職 種	氏 名
2	板 金 工	寺 木 作 美	石 工	沼 昇 一
	大 工	内 藤 健 助	建 具 製 造 工	島 崎 忠 兵 衛
	大 工	松 本 庸 一	表 具 師	佐 藤 太 利
	と び 工	名 和 重 夫	漆 器 工	川 俣 傳 次
	左 官	檜 和 繁	窯 業 絵 付 士	山 田 留 八
3	板 金 工	棒 正 二	木製おけ・たる製造工	矢 吹 信 保
	婦人・子供服仕立職	五 十 嵐 ツ キ ヨ	だ る ま 製 造 工	渡 邊 忠 治
	屋 根 ふ き 工	柳 沼 正 直	板 物 木 地 師	大 塚 葵 四 雄
	左 官	加 藤 仁 嗣	表 具 師	小 林 昇
	木製家具・建具製造工	柴 田 定 三	塗 装 工	松 本 幸 仁
4	時 計 修 理 工	眞 藤 正 雄	左 官	本 多 一 三
	和服仕立・修理職	金 成 文 子	石 工	清 野 隆 弘
	大 工	馬 場 正 義	酒 類 製 造 工	伊 藤 勝 次
	と び 工	小 林 黄 喜	広 告 美 術 工	伊 藤 博 士
	タイル張り工	佐 藤 正 春	写 真 技 師	三 瓶 公 士
5	紳 士 服 仕 立 職	千 葉 芳 男	石 工	渡 邊 佳 春
	和服仕立・修理職	押 山 ミ ュ キ	木製家具・建具製造工	栃 本 武 男
	型 わ く 工	柳 沼 次 男	木製家具・建具製造工	室 井 信 雄
	と び 工	新 田 松 男	草・つる製品製造工	長 郷 千 代 喜
	屋 根 ふ き 工	小 栗 義 光	紙 器 製 造 工	佐 々 木 敏 夫
	左 官	神 保 正 己	塗 装 工	加 藤 誠 次
6	板 金 工	酒 井 定 一	煉瓦・瓦類製造工	深 作 武
	男子服仕立職	菅 野 重 信	木製家具・建具製造工	矢 仲 四 郎
	ブ ロ ッ ク 積 工	折 笠 久 夫	表 具 師	熊 田 健
	左 官	小 林 勝 利	画工・広告美術工	上 杉 良 穂
	建 築 塗 装 工	高 野 忠 良	張 り 子 細 工 師	橋 本 芳 信
7	板 金 工	須 藤 榮 吉	左 官	佐 々 木 武
	その他の電気工事業者	渡 邊 実 次	植 木 職、 造 園 師	小 滝 毅
	染 色 ・ 仕 上 工	渡 邊 幸 雄	石 工	吉 田 時 房
	大 工	瀬 谷 善 壽	表 具 師	穴 戸 春 郎
	型 枠 工	佐 久 間 章	塗 装 工	穴 戸 金 治
と び 工	山 口 留 男	フ ラ ワ ー 装 飾 士	高 橋 一 之	

年度	職 種	氏 名	職 種	氏 名
8	金 属 彫 刻 工	伊 藤 仁 久	木製家具・建具製造工	金 澤 良 吉
	大 工	五 十 嵐 實	草・つる製品製造工	久 保 田 節 子
	と び 工	日 下 部 安 治	紙 製 品 製 造 工	荒 井 久 彌
	左 官	佐 藤 和 良	広 告 美 術 工	丹 治 藤 吉
	配 管 工	七 海 仁 美	広 告 美 術 工	野 地 良 三
	建 築 塗 装 工	柴 崎 利 男	写 真 工	伊 藤 正 春
	石 工	遠 藤 忠 重		
9	製 か ん 工	廣 川 孝 吉	石 工	万 波 孝 一
	板 金 工	千 葉 文 雄	調 理 人	金 田 亮 明
	編 物 工	植 田 静 子	木製家具建具製造工	政 井 寛 夫
	と び 工	石 原 章 男	漆 器 工	庄 司 勝 夫
	畳 工	本 田 喜 一 郎	広 告 美 術 工	佐 藤 義 信
10	漆 器 工	磯 部 昇	板 金 工	鈴 木 孝 一
	タ イ ル 張 工	蒲 倉 信 六	酒 類 製 造 工	高 津 恭 次 郎
	紙 器 製 造 工	小 林 信 夫	屋 根 ふ き 工	寺 山 朝 次
	左 官	佐 川 孝 行	表 具 師	栃 澤 和 男
	広 告 美 術 工	三 瓶 孝 三	石 工	宗 像 周 正
11	屋 根 ふ き 工	加 藤 威 夫	大 工	新 妻 篤
	タ イ ル 張 工	川 木 滋 男	塗 装 工	渡 部 才 記
	広 告 美 術 工	黒 澤 功 一	美 容 師	久 保 田 ひ さ 子
	と び 工	齋 藤 修 一 夫	金 属 研 磨 工	後 藤 東 一
	左 官	澤 田 正 夫	漆 器 木 地 製 造	松 澤 幸 一
12	大 工	岡 江 政 門	漆 器 工	島 影 民 夫
	酒 類 製 造 工	尾 形 義 雄	酒 類 製 造 工	白 井 光 雄
	左 官	菅 野 久	塗 装 工	武 田 稔
	大 工	菊 地 定 吉	タ イ ル 張 工	牧 野 一 巳
	と び 工	穴 戸 隆 司	木 製 建 具 製 造 工	矢 内 康 治
13	左 官	大 橋 弘 信	菓 子 製 造 工	水 口 忠 好
	石 工	菊 地 芳 夫	理 容 師	水 野 登 志 夫
	漆 器 工	小 林 昇	大 工	八 木 澤 規 矩 夫
	金 属 工 作 機 械 工	後 藤 勉	タ イ ル 張 工	渡 邊 正 美
	大 工	長 尾 芳 市	男 子 服 仕 立 職	渡 邊 良 助
14	男 子 服 仕 立 職	安 藤 勇 一	ブ ロ ッ ク 積 工	白 石 三 男
	左 官	安 部 信 一	広 告 美 術 工	橘 剛
	漆 器 工	市 田 亘 男	塗 装 工	菱 沼 郁 夫
	調 理 人	浦 山 菊 夫	石 工	宗 像 良 三
	タ イ ル 張 工	小 澤 義 人	網 大 工	馬 上 安 太 郎
男 子 服 仕 立 職	河 野 政 平			

年度	職 種	氏 名	職 種	氏 名
15	木製家具・建具製造工	遠 藤 清	美容師・着付師	田 名 部 静 江
	板 金 工	小 手 森 重 勝	配 管 工	寺 木 惠 美 男
	男 子 服 仕 立 職	後 藤 良 雄	漆 器 工	富 樫 洋 一
	鍛 造 工	齋 藤 喜 馬	型 わ く 工	橋 本 俊 雄
	石 工	佐 藤 英 男	左 官	緑 川 潔
広 告 美 術 工	高 木 丈 児			
16	畳 工	今 川 一 芳	漆 器 工	角 田 弘 司
	男 子 服 仕 立 職	熊 田 智 光	美 容 師	寺 門 富 子
	防 水 工	小 松 季 次	と び 工	新 妻 喜 代 次
	金 属 工 作 機 械 工	児 山 勇 生	大 工	橋 本 弘
	屋 根 ふ き 工	佐 藤 菊 男	電 気 溶 接 工	濱 津 修 弘
	左 官	白 石 定 義	石 工	三 坂 初 男
調 理 人	鈴 木 正 継			
17	電 気 溶 接 工	阿 部 隆	広 告 美 術 工	高 橋 敏 夫
	左 官	伊 藤 和 男	理 容 師	仲 井 勝 美
	こ け し 工 人	井 上 ゆ き 子	大 工	根 本 正 夫
	漆 器 工	小 椋 昭 次 朗	鉄 道 車 両 組 立 工・修 理 工	矢 吹 久
	木 製 建 具 製 造 工	黒 津 鐵 夫	大 工	山 西 美 次
紙 手 す き 工	瀬 谷 安 雄	石 工	和 田 忠 吉	
18	板 金 工	氏 家 紀 六	板 金 工	高 橋 保 久
	漆 器 工	大 森 茂 光	左 官	松 本 次 夫
	調 理 人	神 田 茂 雄	広 告 美 術 工	松 本 英 明
	大 工	齋 藤 伊 三 男	石 工	水 野 巳 喜 三
	男 子 服 仕 立 職	齋 藤 邦 弘	広 告 美 術 工	吉 井 信 夫
そ の 他 の 建 設 作 業 者	佐 藤 定 市			
19	理 容 師	阿 部 照 夫	塗 装 工	菅 井 正 男
	板 金 工	太 田 剛	金 属 工 作 機 械 工	中 島 重 夫
	男 子 服 仕 立 職	加 藤 清 春	大 工	増 子 則 雄
	酒 類 製 造 工	鎌 田 敬 次	左 官	室 井 満 昭
	鉄 道 車 両 組 立 工・修 理 工	川 名 研 二	大 工	雪 下 常 雄
	漆 器 工	儀 同 哲 夫	大 工	吉 田 克 浩
	植 木 職、造 園 工	後 藤 忠		

計 333名

(3) 認定職業訓練功労者厚生労働大臣表彰

年 度	氏 名	所 属 等
51	高 萩 正 巳	㈱ いわき 職業 訓練 協会 (会 長)
52	宗 像 留 藏	㈱ 郡 山 職 業 訓 練 協 会 (会 長)
53	鈴 木 伴 作	㈱ 会 津 職 業 訓 練 協 会 (理 事)
55	林 博	㈱ 原 町 建 築 職 業 訓 練 協 会 (会 長)
58	四 家 太 一	㈱ いわき 職 業 訓 練 協 会 (会 長)
59	三 瓶 伊 勢 吉	㈱ 郡 山 職 業 訓 練 協 会 (会 長)
60	井 上 吉 男	㈱ いわき 職 業 訓 練 協 会 (会 長)
61	村 上 一 夫	㈱ 県 南 地 区 職 業 訓 練 協 会 (会 長)
62	鈴 木 長 九 郎	㈱ 会 津 職 業 訓 練 協 会 (会 長)
63	内 藤 衛	内 藤 工 業 所 高 等 職 業 訓 練 校 (校 長)
元	遠 藤 一 重	㈱ 田 村 地 区 職 業 訓 練 協 会 (会 長)
2	廣 瀬 寅 次 郎	㈱ 県 南 地 区 職 業 訓 練 協 会 (副 会 長)
3	佐 々 木 修	㈱ いわき 職 業 訓 練 協 会 (理 事)
4	遠 藤 孝	㈱ 会 津 職 業 訓 練 協 会 (相 談 役)
5	下 重 勇 喜	東 白 地 区 建 築 共 同 高 等 職 業 訓 練 校 (校 長)
6	橋 本 美 義	㈱ 福 島 職 業 訓 練 技 能 協 会 (副 会 長)
7	松 山 義 雄	㈱ 会 津 職 業 訓 練 協 会 (相 談 役)
8	七 海 國 栄	㈱ 郡 山 職 業 訓 練 協 会 (理 事)
9	渡 部 一 正	㈱ 会 津 職 業 訓 練 協 会 (常 任 相 談 役)
10	穴 戸 金 治	㈱ 福 島 職 業 訓 練 技 能 協 会 (理 事)
11	内 藤 健 助	㈱ 会 津 職 業 訓 練 協 会 (理 事)
12	橋 本 好 一	㈱ 県 南 地 区 職 業 訓 練 協 会 (理 事)
13	伊 東 正	㈱ 会 津 職 業 訓 練 協 会 (理 事)
14	加 藤 龍 子	㈱ 福 島 理 容 美 容 職 業 訓 練 協 会 (会 長)
15	矢 内 清 助	福 島 共 同 高 等 職 業 訓 練 校 (校 長)
16	渡 邊 正 一	㈱ 郡 山 理 容 職 業 訓 練 協 会 (理 事)
17	國 分 善 郎	㈱ 郡 山 理 容 職 業 訓 練 協 会 (理 事 長)
18	加 藤 誠 次	㈱ 福 島 職 業 訓 練 技 能 協 会 (理 事)
	佐 藤 菊 男	㈱ 郡 山 職 業 訓 練 協 会 (副 会 長)
19	永 山 龍 雄	㈱ 白 河 地 域 職 業 訓 練 協 会 (会 長)

計 30名

(4) 技能検定功労者厚生労働大臣表彰

年 度	氏 名	所 属 等
52	三 品 茂 平	
56	松 本 菊 郎	
59	紺 野 好 次 郎	
60	奥 山 金 光	
62	名 城 寛	名 城 硝 子 店
	渡 邊 喜 司	(有) 渡 辺 技 研 ・ 会 津 プ レ ス 工 業 (株)
63	本 田 三 男	(株) 郡 山 ヒ ヨ ケ
	坂 田 謙 太 郎	坂 田 表 具 内 装
元	菊 地 勝 男	菊 地 建 設 塗 装 (株)
	白 土 佐 平 次	白 土 瓦 工 業 所
2	佐 藤 敏 子	(株) 川 上 商 店
	岩 見 守	パ ー マ ラ イ ト (株)
3	大 河 内 徳 雄	(株) 大 河 内 硝 子 店
	瀬 谷 善 壽	(有) 瀬 谷 工 務 店
4	捧 正 二	(有) さ さ げ 板 金 工 業 所
5	今 泉 克 巳	(有) 忠 光 園 ・ (有) 緑 化 総 合 卸 園 芸 セ ン タ ー
6	池 田 俊 一	香 取 株 式 会 社
7	齋 藤 貞 夫	(株) 晃 建 設
8	加 藤 洋 一	高 橋 電 機 (株)
9	佐 藤 和 雄	(有) 佐 藤 生 花 店
10	横 山 日 出 夫	佐 藤 建 設 機 械 販 売 (株)
11	山 田 俊 文	松 下 電 器 産 業 (株)
12	齋 藤 勝 美	(株) 石 川 屋
	金 田 亮 一	(有) 割 烹 金 田
13	熊 谷 隆	(株) テ ク ノ ス タ ッ プ
14	寺 木 恵 美 男	三 洋 設 備 工 業 所
	今 井 新 次	東 北 リ ズ ム (株)
15	柳 沼 克 実	(株) 福 島 ク ボ タ
	佐 藤 芳 和	(株) モ リ ヨ シ 技 研
16	矢 吹 眞	(株) 協 和 サ ー モ テ ッ ク
	清 野 賢 一	川 俣 精 機 (株)
17	小 松 季 次	(有) 富 士 防 水 工 業 社
	鈴 木 工 雄	キ タ シ バ 技 研 (株)
18	小 林 良 一	(有) 旭 写 真 館
	設 楽 昭 一	福 島 フ ラ ワ ー セ ン タ ー ハ ナ シ ョ ー
19	久 米 美 知 子	学 校 法 人 今 泉 学 園
	千 葉 善 美	千 葉 鋼 建

計 37名

(5) 技能振興功労団体厚生労働大臣表彰

年 度	団 体 名
7	福 島 県 板 金 工 業 組 合
8	福 島 県 紙 器 段 ボ ー ル 箱 工 業 組 合
9	福 島 県 屋 外 広 告 美 術 協 同 組 合
10	福 島 県 表 具 内 装 組 合 連 合 会
11	福 島 県 石 材 業 技 能 士 会
12	福 島 かわらぶき技能士会
14	福 島 県 畳 工 業 組 合
15	福 島 県 プ ラ ス チ ッ ク 工 業 会
16	福 島 県 建 具 ・ 木 工 組 合 連 合 会
17	福 島 県 鉄 筋 業 協 同 組 合
18	福 島 県 写 真 技 能 士 会

計 11団体

(6) 叙 勲 ・ 褒 章

(受章 春：毎年4月29日、秋：毎年11月3日)

年度	叙 勲		褒 章	
	氏 名	職 種 等	氏 名	職 種 等
51秋	菅野 実	認定職業訓練	—	—
52秋	佐戸川 政造	板金工	—	—
54秋	遠藤 貞雄	一般機械組立	—	—
55秋	星 栄作	絵ローソク製作	—	—
	篠崎 守三	広告美術	—	—
	佐藤 熊吉	型物工	—	—
56秋	鈴木 伴作	大工・認定訓練	—	—
	三品 茂平	技能検定	—	—
57秋	菅波 錦平	時計修理	—	—
58秋	佐竹 一夫	陶磁器	宮川 弘	一般機械組立
59春	土屋 正二	広告美術	涌井 慶次郎	左官
59秋	高木 秀雄	広告美術	鈴木 前右衛門	板金
60春	穴戸 昇	建具	大間 政一	石工
60秋	高橋 辰治	畳工	島 明	木工
61春	木村 徳治	建具	古川 喜八	漆器工（蒔絵）
61秋	熊田 留一	洋服仕立	鈴木 孫治	漆器工（塗）
62春	山岸 清次	大工	梅津 秀雄	広告美術
62秋	宗像 留藏	認定職業訓練	田中 忠弘	石工
63春	山崎 文治	建具	池田 庄司	左官
63秋	畠山 忠吉	家具製造工	藤澤 陽野	和服仕立職
元春	君 利美	大工	菅野 太重	洋服仕立職
元秋	山岡 六郎	建具	田村 健治	建具製造工
2春	安斎 喜一郎	木彫工	松浦 貫二	広告美術
2秋	佐藤 俊秋	洋服仕立	二瓶 富士夫	漆器工（塗）
3春	菅野 俊勝	木彫工	渡邊 順	建築板金工
3秋	大野 恒雄	絵職師	佐藤 金安	建具製造工
4春	長谷川 利雄	広告美術	津田 一郎	大工
4秋	曾根 卓男	漆器工	鈴木 正壽	紳士服製造
5春	廣瀬 寅次郎	左官	渡辺 榮七	とび工
5秋	荒井 傳吉	製かん工	松本 菊郎	表具師
6春	中村 正榮	漆器工	宗像 宗雄	畳工
6秋	鈴木 七郎	左官	—	—

年度	叙 勲		褒 章	
	氏 名	職 種 等	氏 名	職 種 等
7春	捧 正 二	板 金 工	眞 藤 正 雄	時 計 修 理 工
7秋	志 賀 善 雄	大 工	橋 本 美 義	板 金 工
8春	長 谷 川 義 雄	広 告 美 術	松 本 幸 仁	塗 装 工
8秋	菊 池 幹	建 具	菊 地 勝 男	塗 装 工
9春	—	—	佐 藤 正 春	タ イ ル 工
9秋	—	—	—	—
10春	松 山 義 雄	認 定 職 業 訓 練 (大 工)	村 上 武 雄	建 築 板 金
	—	—	齋 藤 正 一	紙 器 製 造
10秋	—	—	沼 昇 一	石 工
11春	岩 見 守	技 能 検 定 功 労	五 十 嵐 和 好	左 官
11秋	七 海 國 栄	認 定 職 業 訓 練 (大 工)	岡 一 郎	板 金 工
	渡 部 一 正	認 定 職 業 訓 練 (大 工)	—	—
12春	—	—	吉 田 長 三 郎	畳 工
	—	—	馬 場 正 義	建 築 大 工
12秋	内 藤 健 助	認 定 職 業 訓 練 (大 工)	本 田 三 男	室 内 装 飾
	—	—	三 瓶 公 士	写 真
13春	—	—	深 作 武	か わ ら ぶ き
	—	—	三 室 金 秋	広 告 美 術
13秋	橋 本 好 一	認 定 職 業 訓 練 (大 工)	熊 田 健	表 具 師
	—	—	佐 久 間 正	ブ ロ ッ ク 積 工
14春	—	—	柳 沼 次 男	型 わ く 工
	—	—	山 口 留 男	と び 工
14秋	伊 東 正	認 定 職 業 訓 練 (大 工)	遠 藤 忠 重	石 彫 工
	—	—	松 本 庸 一	宮 大 工
15春	三 瓶 伊 勢 吉	認 定 職 業 訓 練 (大 工)	万 波 孝	石 彫 工
	—	—	佐 藤 義 信	広 告 美 術
15秋	内 藤 衛	職 業 能 力 開 発 協 会	瀬 谷 善 壽	建 築 大 工
	—	—	本 田 喜 一 郎	畳 工
16春	鈴 木 長 九 郎	職 業 能 力 開 発 協 会	金 田 亮 一	日 本 料 理
	加 藤 龍 子	認 定 職 業 訓 練 (美 容)	小 林 昇	表 具
16秋	大 河 原 徳 雄	技 能 検 定 功 労	—	—

年度	叙 勲		褒 章	
	氏 名	職 種 等	氏 名	職 種 等
17春	矢 内 清 助	職 業 訓 練 功 労	佐 川 賢	男 子 服 仕 立 職
	—	—	石 原 章 男	と び 職
	—	—	家 久 来 格 次	管 工 事 業
17秋	庄 司 勝 夫	伝 統 工 芸 業 務 功 労	叶 八 治	タ イ ル 工 事 業
	—	—	後 藤 泰 治	建 設 機 械 器 具 賃 貸 業
18春	加 藤 洋 一	技 能 検 定 功 労	齋 藤 修 一	と び 工
	寺 木 惠 美 男	技 能 検 定 功 労	佐 川 孝 行	左 官
	横 山 日 出 夫	技 能 検 定 功 労	渡 邊 佳 春	石 積 工
	渡 邊 正 一	職 業 訓 練 功 労	—	—
18秋	熊 谷 隆	技 能 検 定 功 労	蒲 倉 信 六	タ イ ル 張 業
	国 分 善 郎	職 業 訓 練 功 労	星 正 申	建 築 板 金 業
	小 松 季 次	技 能 検 定 功 労	—	—
	齋 藤 勝 美	技 能 検 定 功 労	—	—
	鈴 木 工 雄	技 能 検 定 功 労	—	—
19春	今 井 新 次	技 能 検 定 功 労	—	—
	佐 藤 芳 和	技 能 検 定 功 労	—	—
	清 野 賢 一	技 能 検 定 功 労	—	—
	柳 沼 克 美	技 能 検 定 功 労	—	—
	矢 吹 眞	技 能 検 定 功 労	—	—
	山 田 俊 文	技 能 検 定 功 労	—	—
19秋	加 藤 誠 次	技 能 検 定 功 労	菊 地 芳 夫	石 積 工
	佐 藤 菊 男	技 能 検 定 功 労	穴 戸 隆 司	と び 工
	設 樂 昭 一	技 能 検 定 功 労	角 田 弘 司	は く 押 沈 金 工

計 68名

計 63名

11 県立高等技術専門校の変遷

年 月	事 項	年 月	事 項
S. 21.	福島女子技術指導養成所を開設	S. 41. 10	石城職業訓練所をいわき職業訓練所と改称
S. 21. 9	二本松木工補導所を開設	S. 41. 4	相馬職業訓練所を相馬市黒木字斧谷地に新築移転
S. 21. 10	福島女子技術指導養成所を福島建築工養成所と改称	S. 42. 4	石川郡石川町立ヶ岡に石川職業訓練所を開設
S. 22. 11	中村職業補導所を開設	S. 44. 10	職業訓練法の改正に伴い職業訓練所を専修職業訓練校と改称（郡山・郡山（三春分校）・二本松・会津・石川・白河・相馬・富岡・いわき・8校1分校）
S. 22. 11	福島建築工養成所を福島県木材工芸公共職業補導所と改称	S. 52. 4	郡山専修職業訓練校を郡山高等職業訓練校と改称
S. 24. 4	福島県木材工芸公共職業補導所を福島県建築工公共職業補導所と改称	S. 52. 4	郡山専修職業訓練校三春分校を郡山高等職業訓練校三春分校と改称
S. 25. 7	郡山公共職業補導所を開設	S. 53. 3	郡山高等職業訓練校三春分校を廃校
S. 26. 10	平公共職業補導所を開設	S. 54. 4	職業訓練法の改正に伴い専修職業訓練校を職業訓練校と改称（郡山・二本松・会津・石川・白河・相馬・富岡・いわき・8施設）
S. 27. 4	福島県建築工公共職業補導所を福島第二公共職業補導所と改称	S. 56. 4	二本松職業訓練校を郡山職業訓練校二本松分校と改称
S. 29. 8	中村職業補導所を相馬職業補導所と改称	S. 57. 3	二本松職業訓練校を廃校
S. 29. 8	平公共職業補導所を石城職業補導所と改称	S. 57. 3	白河職業訓練校を廃校
S. 33. 7	郡山公共職業補導所を郡山職業訓練所と改称	S. 57. 4	会津高等技術専門校を耶麻郡塩川町遠田に新築移転
S. 33. 7	二本松木工補導所を二本松職業訓練所と改称	S. 57. 4	（郡山・会津）職業訓練校を（郡山・会津）高等技術専門校と改称
S. 33. 7	相馬職業補導所を相馬職業訓練所と改称	H. 3. 3	いわき技術専門校を廃校
S. 33. 7	石城職業補導所を石城職業訓練所と改称	H. 6. 4	石川技術専門校を郡山高等技術専門校石川分校と改称
S. 33. 7	福島第二公共職業補導所を福島職業訓練所と改称	H. 7. 3	郡山高等技術専門校石川分校、（相馬・富岡）技術専門校を廃校
S. 34. 4	双葉郡富岡町夜ノ森、旧双葉農業に富岡職業訓練所を開設	H. 7. 4	原町市萱浜に浜高等技術専門校を開設
S. 36. 3	郡山職業訓練所を郡山市小次郎木地内に新築移転	H. 7. 4	郡山・会津・浜高等技術専門校の3校体制を整備し、全科高卒者対象の訓練科を整備
S. 36. 4	耶麻郡塩川町堂島中学校跡地に会津職業訓練所を開設	H. 15. 4	会津高等技術専門校を全科高卒2年課程とし、3校13科高卒者対象の2年課程訓練科を整備
S. 36. 4	白河市上の原に白河職業訓練所を開設		
S. 39. 8	石城職業訓練所を内郷市宮町台に分庁舎新築移転		
S. 40. 4	郡山職業訓練所三春分所を開設		

	S21	S21.9	S22.11	S25.7	S26.10	S27.4	S29.8	S33.7	S34.4	S36.4	S40.4	S41.10	S42.4	S44.10	S52.4	S53.3	S54.4	S56.4	S57.3	S57.4		H3.3	H6.4	H7.3	H7.4	H15.4	H20.4
二本松 住所 期間・定員		二本松木工補導所 二本松市本町 (木工) 3か月、30人						二本松職業 訓練所						二本松専修 職業訓練校			二本松職 業訓練校	郡山職業 訓練校 二本松分校	廃校	-	-	-	-	-	-	-	-
郡山 住所 期間・定員				郡山公共職業補導所 田村郡守山町 (電工) 6か月、30人				郡山職業 訓練所						郡山専修 職業訓練校	郡山高 等職業 訓練校		郡山職業 訓練校				郡山高 等技術 専門校						
郡山 住所 期間・定員											郡山職業訓練所 三春分所 (自動車整備工) 6か月、30人			郡山専修 職業訓練校 三春分校	郡山高 等職業 訓練校 三春分校	廃校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
会津 住所 期間・定員										会津職業訓練所 耶麻郡塩川町 (板金、塗装工) 1年、各40人				会津専修 職業訓練校		会津職業 訓練校					会津高 等技術 専門校						
白河 住所 期間・定員										白河職業訓練所 白河市上の原 (縫製工、靴修理工) 1年、30人				白河専修 職業訓練校		白河職業 訓練校		廃校	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川 住所 期間・定員													石川職業訓練所 石川町立ヶ岡 (左官、建築大工) 1年、各30人	石川専修 職業訓練校		石川職業 訓練校				石川技 術専門 校		郡山高 等技術 専門校 石川分 校	廃校	-	-	-	
いわき 住所 期間・定員					平公共職業補導所 平市常盤町 (自動車整備工) 1年、30人			石城職業 補導所	石城職業 訓練所				いわき職業 訓練所	いわき専修 職業訓練校		いわき職業 訓練校					いわき技 術専門 校	廃校	-	-	-	-	-
富岡 住所 期間・定員										富岡職業訓練所 富岡町夜の森 (洋裁工) 1年、30人				富岡専修 職業訓練校		富岡職業 訓練校					富岡技 術専門 校	廃校	-	-	-	-	
相馬 住所 期間・定員					中村職業補導所 相馬郡中村町 (木工) 6か月、30人			相馬職業 補導所	相馬職業 訓練所					相馬専修 職業訓練校		相馬職業 訓練校					相馬技 術専門 校	廃校	-	-	-	-	-
相馬 住所 期間・定員																								浜高等技 術専門 校			
福島 住所 期間・定員	福島女子技術 指導養成所 (旋盤、仕上げ工)	S21.10 福島建築 工養成所		S24.4 福島県木材工芸 公共職業補導所				福島第二公共職業 補導所					S42.3 福島職業訓練所 福島市太田町 (建築大工、70ヶ所建築)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

S22.9労働省新設
 S22.12公共職業補導所と改名
 職業補導事業の主管課として、職業安定局職業補導課

S33.2職業訓練法制定
 職業訓練所と改名
 商工労働部職業安定課

S44.7職業訓練法の一部改正
 専修職業訓練校と改名
 商工労働部職業訓練課

S60.6職業訓練法を職業能力開発促進法と改名
 H2.4商工労働部職業能力開発課

H15.4商工労働部技能振興グループ
 H20.4商工労働部産業人材育成課

12 関係団体等一覧／出先機関等一覧

(1) 技能振興グループ関係団体等一覧

機 関 名	代表者(職・氏名)	所 在 地	電話番号
独立行政法人雇用・能力開発機構 福島センター (福島職業能力開発促進センター)	統括 所長 平山 健	〒960-8054 福島市三河北町7-14	024(534)3637
独立行政法人雇用・能力開発機構 福島センター いわき職業能力開発促進センター	所長 室越光男	〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場1-1	0246(26)1231
独立行政法人雇用・能力開発機構 福島センター 会津職業能力開発促進センター	所長 宮本伸雄	〒965-0858 会津若松市神指町大字南四合深川西292	0242(26)0515
福島県職業能力開発協会	会長 鈴木長九郎	〒960-8650 福島市中町8-2	024(525)8681
福島県技能士会連合会	会長 沼 昇一	〒960-8650 福島市中町8-2	024(523)1755
福島県名工会	会長 吉田長三郎	〒960-8650 福島市中町8-2	024(523)1755
(株)福島県雇用開発協会	会長 福井邦顕	〒960-8034 福島市置賜町1-29 佐平ビル8F	024(524)2731

(2) 産業人材育成課関係出先機関等一覧

機 関 名	所 在 地	電話番号
郡山高等技術専門学校	〒963-8816 郡山市上野山5	024(944)1663
会津高等技術専門学校	〒969-3534 喜多方市塩川町遠田字沼上1900	0241(27)3221
浜高等技術専門学校	〒975-0036 南相馬市原町区萱浜字巢掛場45-112	0244(26)1555
県北地方振興局企画商工部 地域づくり・商工労政課	〒960-8065 福島市杉妻町5-75 県庁東分庁舎内	024(521)7738
県中地方振興局企画商工部 地域づくり・商工労政課	〒913-8540 郡山市麓山一丁目1-1 県郡山合同庁舎内	024(935)1292
県南地方振興局企画商工部 地域づくり・商工労政課	〒961-0971 白河市字昭和町269 県白河合同庁舎内	0248(23)1292
会津地方振興局企画商工部 地域づくり・商工労政課	〒965-8501 会津若松市追手町7-5 県会津若松合同庁舎内	0242(29)5292
南会津地方振興局企画商工部 地域づくり・商工労政課	〒967-0004 南会津郡南会津町田島根小屋甲4277-1 県南会津合同庁舎内	0241(62)5207
相双地方振興局企画商工部 地域づくり・商工労政課	〒975-0031 南相馬市原町区錦町一丁目30 県南相馬合同庁舎内	0244(26)1142
いわき地方振興局企画商工部 地域づくり・商工労政課	〒970-8026 いわき市平字梅本15 県いわき合同庁舎内	0246(24)6202

福島県商工労働部